

日立DVDプレーヤー DV-P1形 NTSC



□初めに「ご使用のまえに」(36ページ)、「接続のしかた」(37～39ページ)をご覧ください。
□8～9ページをお読みいただければ、再生ができます。

愛情点検



●長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ!

●DVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

このようなことはありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名 _____ 電話 () _____

ご購入年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

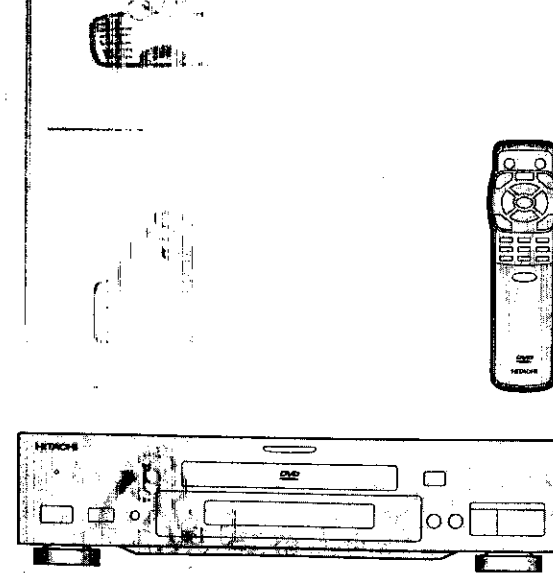


この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

このたびは日立DVDプレーヤー、DV-P1をお求めいただき、まことにありがとうございました。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用前に最後までお読みください。特に「使用上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口一覧表」と一緒に保存してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

●業務用には対応していません。



基本操作

簡単に楽しんでいただくために必要なことが書かれています。

応用操作

便利な機能やおもしろい機能を説明しています。

いろいろな設定

使いやすくするための設定方法が書かれています。

画面でいろいろな操作

本機の多彩な機能を、画面を見て設定する方法を説明しています。

準備

接続のしかたや操作前に知っておいていただきたいことが書かれています。

その他

故障が起きたとき、アフターサービスについて

安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



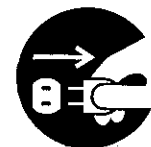
⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



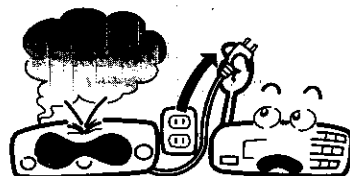
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上の注意

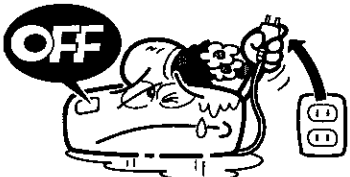
警告 [異常時の処理]



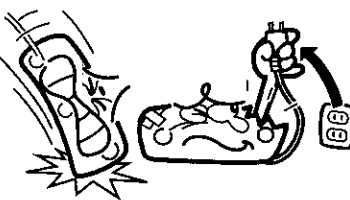
●万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



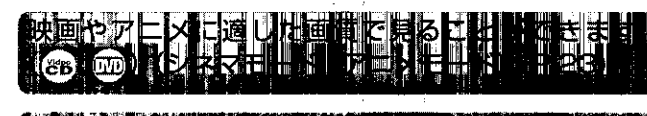
●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。本書はマークによる機能の説明をしています。



こんなことができます



*マークはディスクによってはできないものもあります。

なるほど

DVDは12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えて楽しむとか、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。本機ではこれらのDVD規格に沿った機能の他にもGU I（グラフィカルユーザーインターフェース）などの独自の優れた機能を持っています。

プレーヤーはDVD規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによっては例えば字幕が1種類しか入っていないものもあり、字幕切り替えができない等本説明書の記載通りに動作しないものもあります。本説明書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。

使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

■ 次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。



■保管

- 必ずケースにいれ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

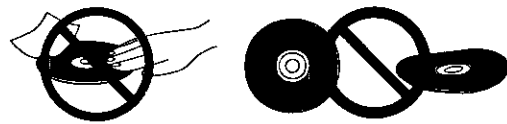
■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはレーベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。



■レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバーシエンジニアリングや分解は禁止されています。

結露について

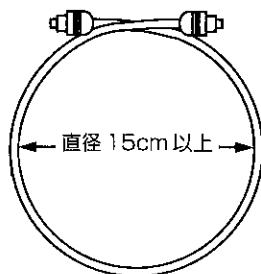
冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

市販の光ファイバーケーブル取扱上の注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さが3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。



目次

本機で再生できるディスクの種類 6

基本操作

簡単に楽しんでいただくために必要なことが書かれています。

- 再生する 8
- 選択画面（メニュー）を選んで再生する 9
- 終了する 10
- チャプター（トラック）を進める／戻す 11
- つづきから見る 12

応用操作

便利な機能やおもしろい機能を説明しています。

- 静止画／コマ送りにする 13
- 見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ） 14
- 繰り返して見る・聞く（リピート再生） 17
- CDを順不同で再生する（ランダム再生） 18
- 希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生） 19

いろいろな設定

使いやすくするための設定方法が書かれています。

- ワイドテレビ用ソフトの設定 22
- 画質や表示を切り換える 23
- 音量を調節する 24
- 情報を見る 24
- よく見るDVDの各種設定を記憶させる 25

●見出しのマークは次のような意味です。

- DVDで機能する操作の説明です。
 - ビデオCDで機能する操作の説明です。
 - CDで機能する説明操作です。
 - このマークのある操作は、本体でできます。
 - このマークのある操作は、リモコンでできます。
- 2つのマークがついている操作は、本体・リモコンのどちらからでもできます。

画面でいろいろな操作

本機の多彩な機能を、画面を見て設定する方法を説明しています。

- 字幕言語を選ぶ 26
- 見たい方向からの映像を選ぶ 26
- 音声言語を選ぶ 27
- 音声を切り換える 27
- GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）操作の概要 28
- メインメニューについて 31
- タイトルメニューについて 31
- メニュー画面の内容 31
- 4つのメニューについて 32
- さまざまな設定を変更する 33

準備

接続のしかたや操作前に知っておいていただきたいことが書かれています。

- ご使用のまえに 36
- 接続のしかた 37
- 各部の名称 40

その他

故障かな？と思ったら / アフターサービスについて

- 正しく、未永くお使いいただくために 43
- 用語 44
- 故障かな？と考える前に 46
- 保証とアフターサービス 47
- 仕様 47

基本操作

応用操作

いろいろな設定

画面でいろいろな操作

準備





その他

その他

本機で再生できるディスクの種類

本機は、DVD プレーヤーです。

- 下表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は下記の3種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cm アダプター (CD 用) は使わないでください。

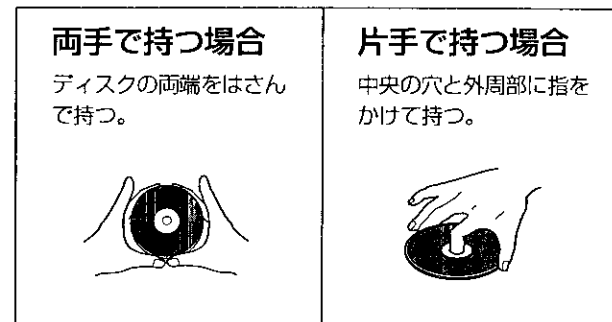
再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	再生時間
	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	12cm/片面	1層 133分 (4.7GB) 2層 242分 (8.5GB)
	12cm/両面	1層 266分 (9.4GB) 2層 484分 (17GB)
	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
8cm/片面	1層 41分 2層 75分	
8cm/両面	1層 82分 2層 150分	
ビデオ CD  	VIDEO CD 12cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大 74 分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大 20 分
CD 	CD 12cm/片面	デジタル音声 最大 74 分
	CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 最大 20 分

本機は NTSC (日本のテレビ方式) に適合しています。
上記以外のディスクは使用できません。
* DVD の再生時間は、平均記録レートが 4.7Mbps の場合です。

ご注意

- CD-R ディスク (1 度だけ記録できるディスク) は使用できません。
- リージョン No. (45 ページ、用語を参照) が日本地域番号である「2」を含んでいない DVD は再生できません。

ディスクの持ちかた



ディスクの保管

- ディスクは従来のアナログレコードと同様プラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので、置かないでください。
- ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

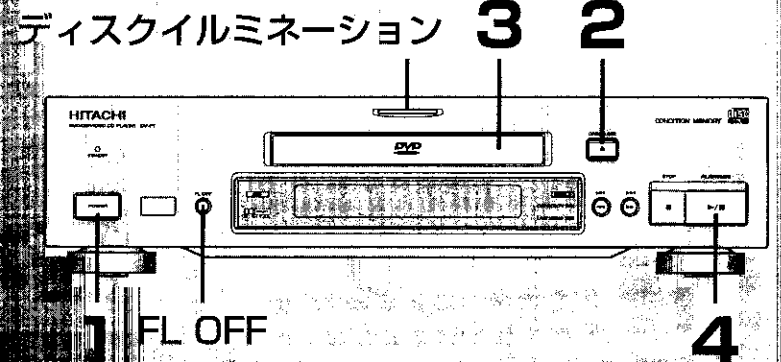
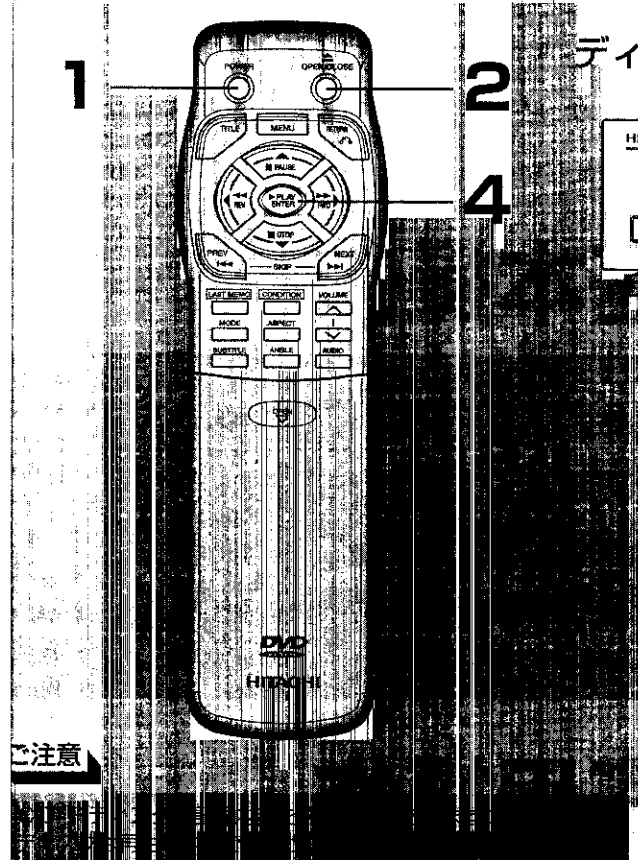
基本操作

再生する	8
選択画面 (メニュー) を選んで再生する	9
終了する	10
チャプター (トラック) を進める/戻す	11
つづきから見る	12

応用操作

静止画/コマ送りにする	13
見たい場面/聞きたい場所を探す (サーチ)	14
繰り返して見る・聞く (リピート再生)	17
CD を順不同で再生する (ランダム再生)	18
希望の順番に並び換えて再生する (プログラム再生)	19

再生する



- 1** **電源ボタンを押す**
 ●STANDBY インジケータが消灯します。

- 2** **OPEN/CLOSE▲ボタンを押す**
 ●ディスクテーブルが出てきます。

- 3** **ディスクを置く**
 ●レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

- 4** **PLAY/ENTER▶ボタンを押す**
 ●前面では再生一時停止▶/|| ボタンを押します。
 ●再生が始まります。
 ●ディスクによっては、メニュー（選択画面）になります。メニューが映った場合は、次ページを参照してください。

おや? 再生できない

- 再生可能地域番号（リージョンNo.）（45ページ）が含まれていないDVDは再生できません。（本機の再生可能地域番号は「2」です。）
- DVD-Video以外のDVDは再生できません。

オートパワーオン機能

- 電源が「切」のときに、ディスクテーブルを出したい時は、前面のOPEN/CLOSE▲ボタンを押してください。自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。
- ディスクを入れたまま電源を切った時は、前面の再生一時停止ボタン▶/||またはリモコンのPLAY/ENTER▶ボタンを押すと、自動的に電源が入り再生を開始します。

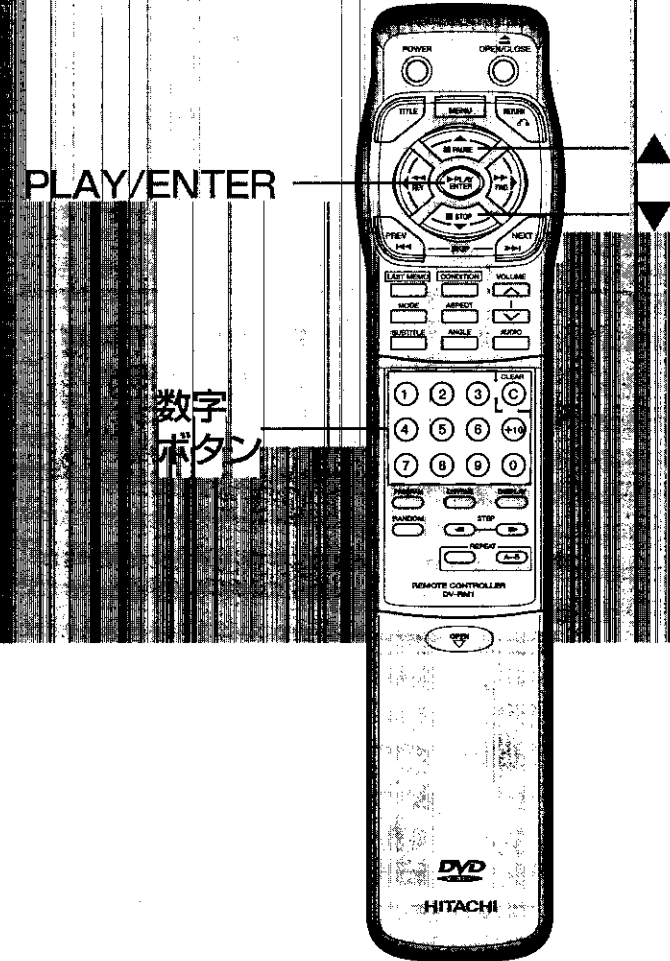
ディスクイルミネーション
 DVDの場合はブルー、ビデオCD・CDの場合はグリーンとなります。

表示窓を消灯
 FL OFF ボタンを押すと表示窓の表示が消え、もう一度押すと、表示窓の表示が出ます。

なるほど
 DVDでは、再生を停止後、メニューなどを使ってタイトルを指定せずに再生した時は、前と同じタイトルを再生します。

選択画面（メニュー）を選んで再生する

DVD、ビデオCDでは、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。
 本機では、次のようにメニューから選んで好みのタイトルや曲が選べます。



なるほど

- メニュー内容はディスクによって異なります。方向ボタン（◀▶、▲▼）、PLAY/ENTER▶ボタン、数字ボタンを使ってメニューに応じた再生をお楽しみください。
- ビデオCDではメニューを出さずに再生することもできます。停止中に数字ボタンを押します。例えば、トラック1から再生するには、数字ボタンの1を押します。

ご注意

- ビデオCDでは、メニューを表示して再生したときは、PROGRAM、RANDOM、REPEATの機能は働きません。これは、メニューを使ってインタラクティブ（双方向）に操作できるからです。
- ビデオCDでは、方向ボタン（◀▶、▲▼）としては使用できません。

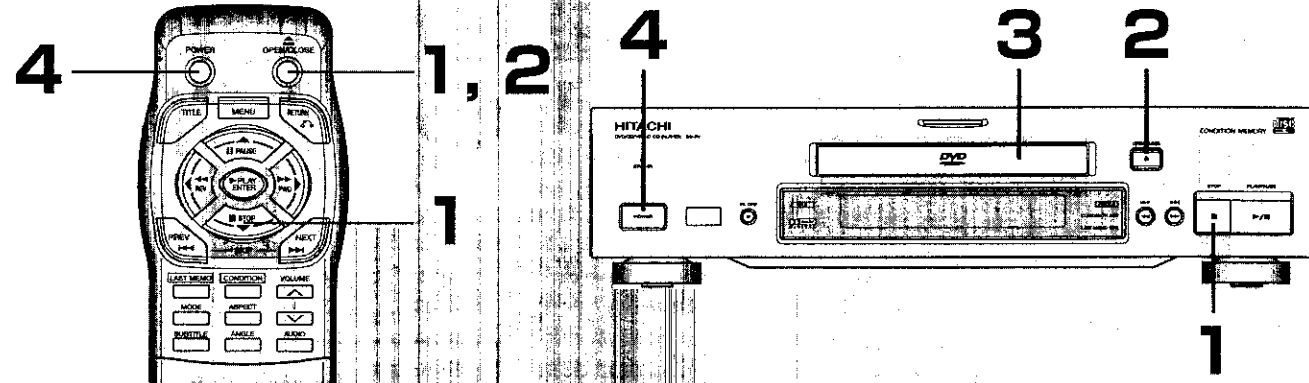
- 再生のしかた**
- 1** **PLAY/ENTER▶ボタンを押す**
 ●メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、ディスクに記録されたものです。ディスクごとに異なります。
 ●DVDでは、メニュー操作可能なときには、前面のGUIインジケータが点灯します。
 ●ビデオCDでは表示窓に「PBC」と表示されます。
 例) さらにメニューがあるとき

 - 2** **数字ボタンで選ぶ**
 ●10以上を選ぶ場合は、●ボタンを使います。
 例1. 10を選ぶとき
 ●→●
 例2. 17を選ぶとき
 ●→●→●
 例3. 20を選ぶとき
 ●→●→●→●
 ●選んだタイトルまたは曲を再生します。
 ●DVDでは、▲、▼ボタンで番号を選んで、その後PLAY/ENTER▶ボタンを押しても選べます。

- RETURN ◀ボタンを押す。**
- 次の2つの方法で停止します。
 OPEN/CLOSE ボタン▲を押す
 ●DVDのディスクに記録されたメニューを操作するとき、リモコンのSTOP■ボタンを2秒程度押し続けると画面に「ストップ?」と表示します。また、GUIインジケータが消灯している、またはビデオCDを再生しているとき、リモコンのSTOP■ボタンを押した場合も同様に「ストップ?」と表示します。数秒後に「ストップ?」の表示は消えますが、表示中にもう一度STOP■ボタンを押すと停止します。
- NEXT ▶▶ボタンを押す。**
- PREV ◀◀ボタンを押す。**
- RETURN ◀ボタンを押す。**
- 押すごとにひとつずつ前のメニュー画面に戻ります。
- PAUSE ||ボタンを押す。**
- 解除するにはもう一度PAUSE ||ボタンを押してください。

ディスクによっては、上記の操作ができないものがあります。

終了する



便利な機能

DVD のつづきから見るには

DVDでは途中で見たあと、続きから見ることができます。詳しくは、12ページの「つづきから見る」をご参照ください。

ご注意

- DVDではディスクによっては方向ボタンで項目を選択するものがあります。このようなディスクでは、[GUI]インジケータが点灯し、リモコンの方向ボタンは方向ボタンとして働きます。また、誤操作を防ぐため、DVDでメニュー操作をしているとき以外で、前面のGUIインジケータが点灯しているときは、リモコンのSTOP■ボタンを2秒程度押し続けると画面に“ストップ?”と表示します。また、前面のGUIインジケータが点灯している、またはDVD以外のディスクを再生しているときに、リモコンのSTOP■ボタンを押したときは、画面に“ストップ?”と表示します。数秒後に“ストップ?”の表示は消えますが、表示中にもう一度STOP■ボタンを押すと停止します。
- 再生中にOPEN/CLOSE▲ボタンを押すと、再生を終了します。(停止ボタンとして動く)

再生を一時止めるには

再生一時停止▶/|| ボタン (リモコンの場合はPAUSE) を押し、音が消え、表示窓にPAUSEが表示されます。もう一度、再生一時停止▶/|| ボタン (リモコンの場合はPLAY/ENTER▶) を押し、またところから再生が始まります。

- DVD、ビデオCDでは、静止画になります。
- 長時間一時停止状態の連続再生は、再生一時停止を解除する必要があります。

1

リモコンのSTOP■ボタンを2回押しまたはリモコンのOPEN/CLOSE▲ボタンを1回押し

- 前面の停止■ボタンや再生中でのリモコンのOPEN/CLOSE▲ボタンは、2回押しする必要はありません。
- 再生が終わります。

2

OPEN/CLOSE▲ボタンを押す

- ディスクテーブルが前面に出てきます。

3

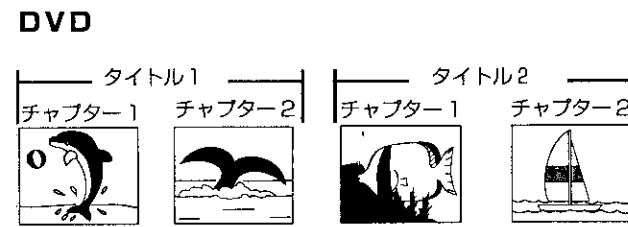
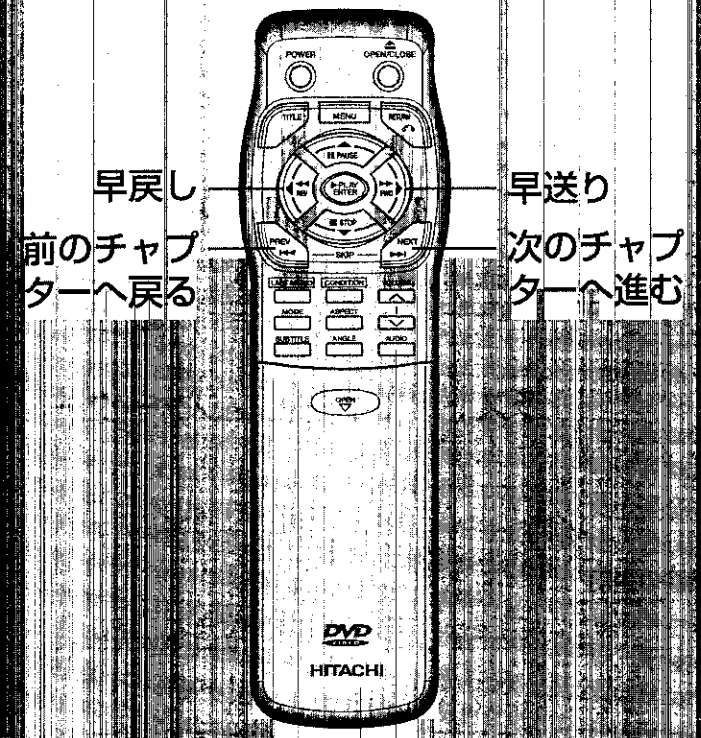
ディスクを取り出す

4

電源ボタンを押す

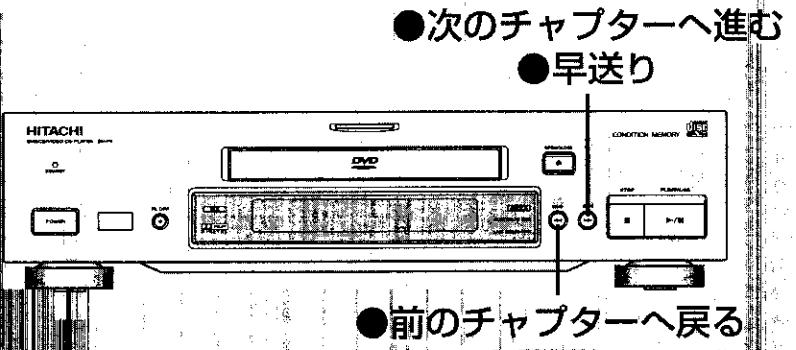
- ディスクテーブルが閉まり、電源が切れてSTANDBYインジケータが点灯します。

チャプター(トラック)を進める/戻す



なるほど
チャプターって何?
 DVDでは、ディスクの中をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。CDではトラックと呼んでいるものをDVDではチャプターと呼んでいます。

- ご注意**
- これらの操作は、タイトル間をまたいで行うことはできません。



次のチャプター(トラック)へ進む

●次のチャプターへ進む
●早送り

NEXT▶▶ ボタンを押す

- 押した回数だけ次のチャプター(トラック)に進みます。
- 前面の▶▶▶ ボタンを押し続けると、早送りになります。

前のチャプター(トラック)へ戻る

●前のチャプターへ戻る
●早戻し

PREVI◀◀ ボタンを押す

- 1度押すと再生しているチャプター(トラック)の初めに戻ります。
- さらに押すと前のチャプター(トラック)に戻ります。
- 前面の◀◀◀ ボタンを押し続けると、早戻しになります。

早送りのしかた

FWD▶▶ ボタンを押し続ける

- 目的のところまできたらFWD▶▶ボタンを離します。続きを再生します。

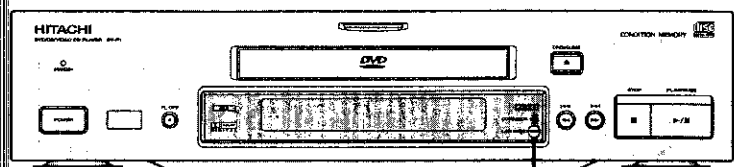
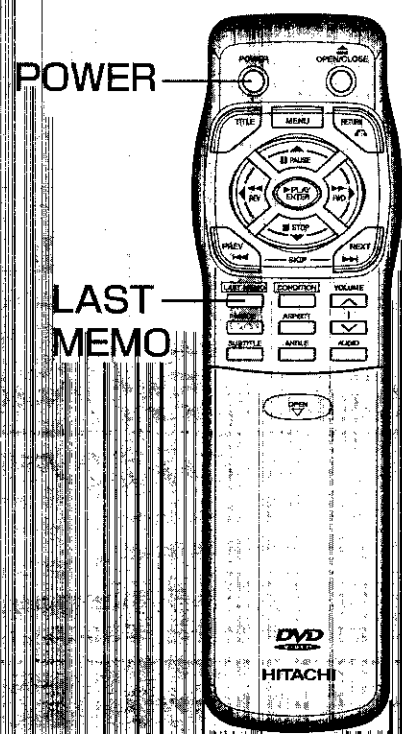
早戻しのしかた

REV◀◀ ボタンを押し続ける

- 目的のところまできたらREV◀◀ボタンを離します。続きを再生します。

基本操作
 画面表示
 設定
 その他

つづきから見る



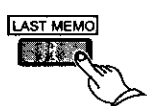
ラストメモリーインジケータ

機能の説明

つづきで見た場所をディスクごとに記憶することができます。ディスクを取り出しても記憶は消えません。次にそのディスクを記憶した場所から再生することができます。

最大5枚のディスクを記憶することが可能です。

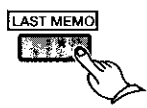
記憶させるとき



再生中に LAST MEMO ボタンを押す

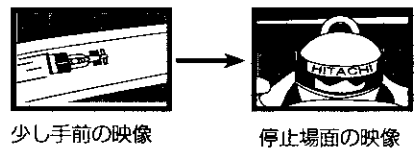
- 前面のラストメモリーインジケータが点灯します。
- POWER ボタンで電源を切るか STOP ボタンで再生を停止します。

つづきから見るとき



停止中またはタイトルメニューを表示中に LAST MEMO ボタンを押す

- 電源が入っていないときに、このボタンを押すと、電源が自動的に入り、同様の操作をすることができます。



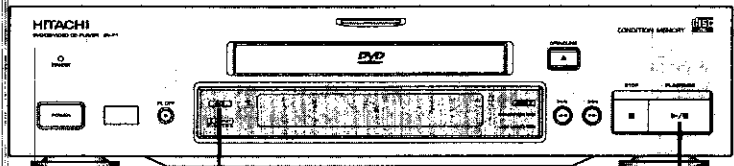
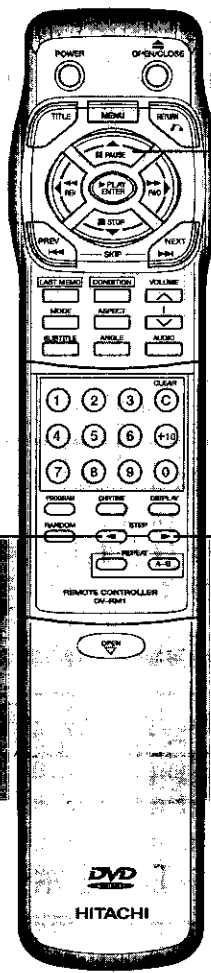
おや？

- DVD 再生だけの機能です。CD、ビデオ CD などでは、続き再生はできません。
- ラストメモリーは記憶した場所だけでなく、アスペクト・音声・字幕言語・シネマモード/アニメモードなどの各種設定も記憶します。
- ラストメモリーしたディスクでも、再生/一時停止 ▶|| ボタンで再生すると、ディスクの始めから再生します。
- 続き再生したディスクはラストメモリーが自動的に消去されます。
- ラストメモリー登録ディスクの枚数が5枚を超えたときは古い記憶(一番最初にメモリーしたもの)から消去、上書きされます。
- 時間表示、チャプター表示の無い DVD のタイトルでは機能しません。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、記憶できません。電源コードを抜くときは、必ず前面の電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。

静止画/コマ送りにする



GUIインジケータ

▶|| ボタン

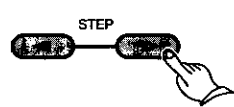
静止画再生-画像を止めてみる



PAUSE ▶|| ボタンを押す

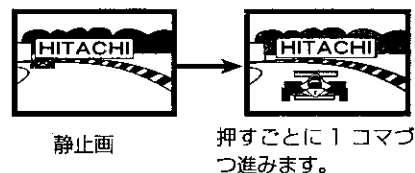
- 前面では再生/一時停止 ▶|| ボタンを押します。
- DVD では、STEP ボタン ◀||▶ でも静止画になります。
- シネマモード、アニメモードでは静止画ではなく、専用の画面 (INTERMISSION や Break と表示) になります。

コマ送り再生-画像を1コマずつ見る



静止画の状態からコマ送りボタン ▶||▶ を押す

- ▶||▶ : 押すごとに1コマづつ進みます。
- ▶||▶ を押しつづけるとスロー再生ができます。
- スロー再生中 ◀||▶ を押すとスロー再生の早さが変わります。
- ビデオ CD ではコマ送り、スロー再生はできません。



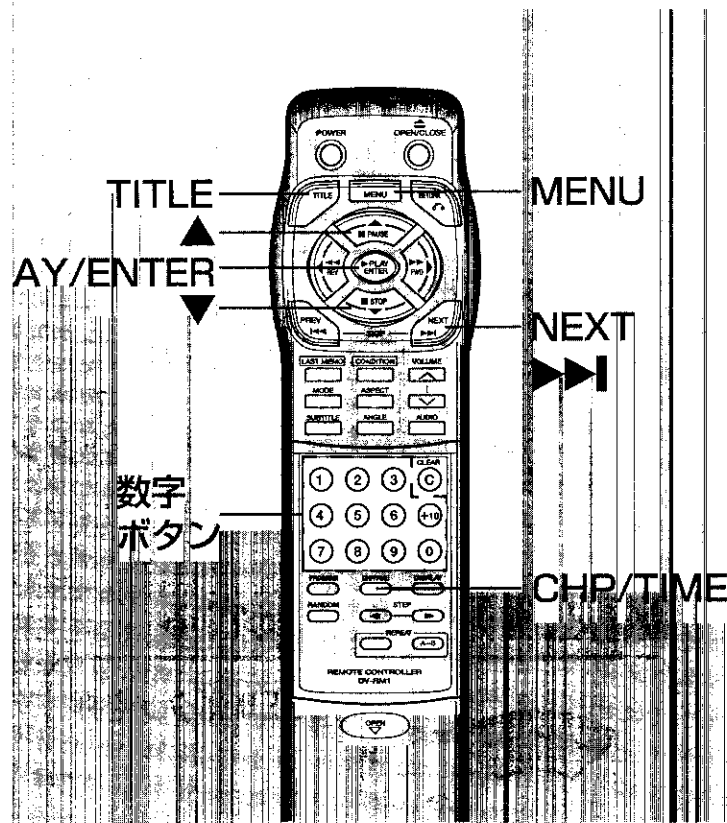
おや？

- 静止画、コマ送り中の音声は聞こえません。
- GUIインジケータが点灯しているときは、リモコンではPLAY/ENTER▶ ボタンを2秒程度押し続けると普通の再生に戻りません。
- ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合は、⊖マークが画面に表示します。

普通の再生に戻すには

再生/一時停止 ▶|| ボタン (リモコンの場合はPLAY/ENTER▶) を押します。

見たい場面／聞きたい場所を探す (サーチ)



■タイトル番号で直接探す (DVDのみ)

停止中と再生中では、操作のしかたが異なります。

停止中

その1

NEXT ボタンを押す

●押すごとにタイトル番号が増えますので、希望の番号まで押してください。再生が始まります。

その2

数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ

例①タイトルの3を選ぶとき

例②タイトルの10を選ぶとき

その3

1

TITLE ボタンを押す

●タイトルのメニューが表示されます。

2

▲▼ボタンでタイトル番号を選択する

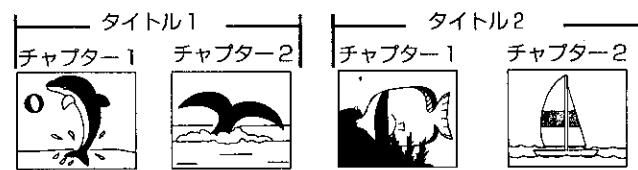
●選んだ番号が青く表示されます。

3

PLAY/ENTER ▶ ボタンを押す

●指定したタイトルを再生します。

DVD



ご注意

- タイトルを連続して再生できません。(たとえば、右図(その3)でタイトル1~5を連続して再生はできません。)
- 複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生(19、20ページ参照)してください。
- DVDでは、ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。そのような場合は機能しません。

再生中

その1

1

TITLE ボタンを押す

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

2

数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ。

例①タイトルの3を選ぶとき

例②タイトルの10を選ぶとき

その2

1

TITLE ボタンを押す

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

2

さらにTITLE ボタンを押す

●希望のタイトル番号になるまで押してください。

3

PLAY/ENTER ▶ ボタンを押す

●指定したタイトルを再生します。

その3

1

TITLE ボタンを押す

2

MENU ボタンを押す

●タイトルのメニューが表示されます。

3

▲▼ボタンでタイトル番号を選択する

●選んだ番号が青く表示されます。

4

PLAY/ENTER ▶ ボタンを押す

●指定したタイトルを再生します。

■チャプター/トラック番号で直接探す (ダイレクトサーチ)

DVDでは、初めにタイトルを再生し、その後、お好みのチャプターを選んでください。

再生中

DVDのチャプター番号、CD、ビデオCDのトラック番号を選びます

例①チャプター/トラックの3を選ぶとき

例②チャプター/トラックの17を選ぶとき

例③チャプター/トラックの30を選ぶとき

●DVDでは、再生中のタイトル内のチャプターを選択します。他のタイトルのチャプターは選択できません。

■チャプター番号で探す (ノーマルサーチ)

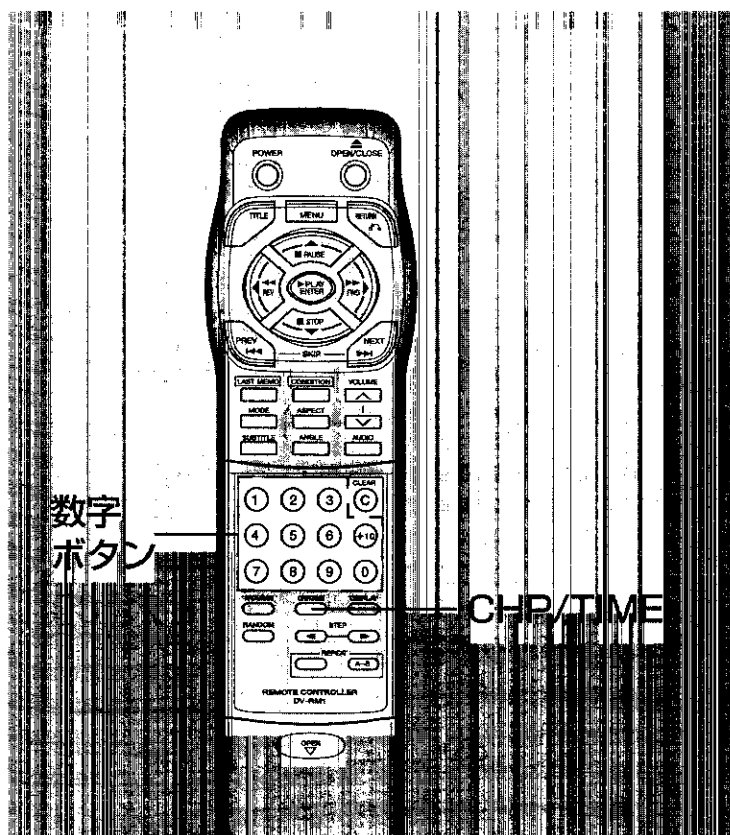
DVD 再生中

例①17のとき:

例②30のとき:

●DVDでは、タイトル間をまたがってチャプターの選択はできません。同一タイトル内のみです。

繰り返して見る・聞く (リピート再生)



DVD 再生中

その2

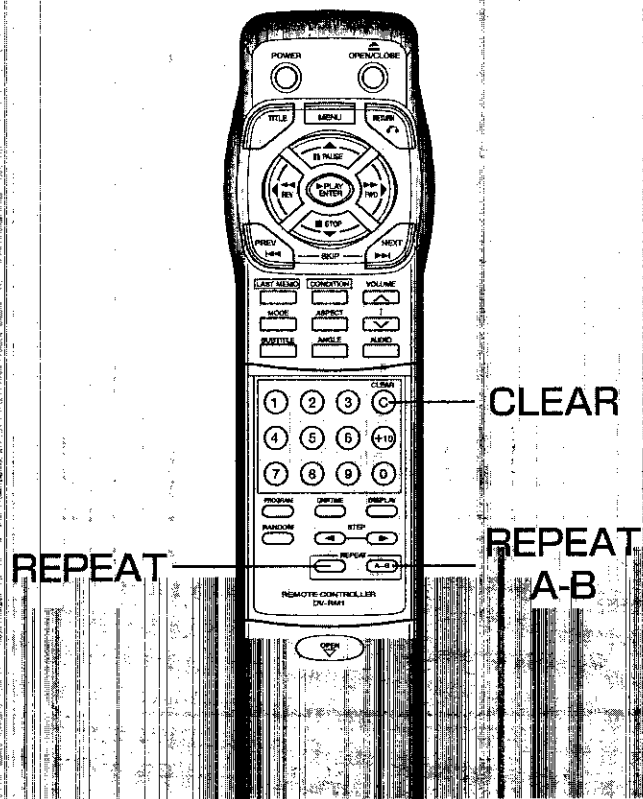
- 1** **CHP/TIME ボタンを押す**
- 2** **MENU ボタンを押す**
●チャプターのメニューが表示されます。
- 3** **数字ボタンで直接チャプター番号を選ぶ。**
- 4** **PLAY/ENTER▶ ボタンを押す**
●指定したチャプターを再生します。

■時間で探す (タイムサーチ) (DVDのみ)

- 1** **再生中に CHP/TIME ボタンを2回押す**
チャプター 0 → タイム 0
- 2** **数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する**
例: 21分43秒の時
② → ① → ④ → ③
タイム 21.43
●タイトル間をまたがって、時間の選択はできません。同一タイトル内のみです。
- 3** **PLAY/ENTER▶ ボタンを押す**
●指定したタイムナンバーの画面から再生します。

おや?

- CD やビデオ CD ではタイムサーチできません。
- 時間表示、チャプター表示の無いDVDのタイトルではタイムサーチは機能しません。



■トラック/チャプターをリピート再生する

繰り返したい曲やチャプターの再生中に REPEAT ボタンを1回押す

■1つのタイトルをリピート再生する

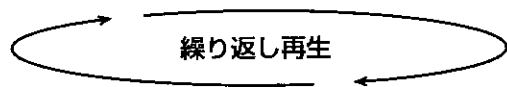
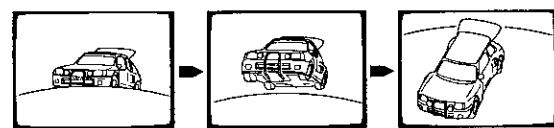
REPEAT ボタンを2回押す。

- DVD ではタイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
- CD、ビデオCDでは、ディスク1枚が1つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。

■指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終わりで REPEAT A-B ボタンを押す

- ビデオ CD ではできません。



便利な機能

プログラムのリピート再生ができます。プログラム再生中に REPEAT ボタンを1回押します。(プログラムリピート)
●プログラムについては19ページをご覧ください。
なるほど

DVD では同一タイトル内での繰り返し再生となります。

ご注意

- 時間表示、チャプター表示の無いDVDのタイトルでは機能しません。
- ビデオ CD では、メニューを表示して再生をしたとき (PBC再生) は、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生 (9ページ参照) してから REPEAT ボタンを押してください。

■指定した場所に戻る

希望の場所で REPEAT A-B ボタンを押す。戻りたいところで PLAY/ENTER▶ ボタンを押す。

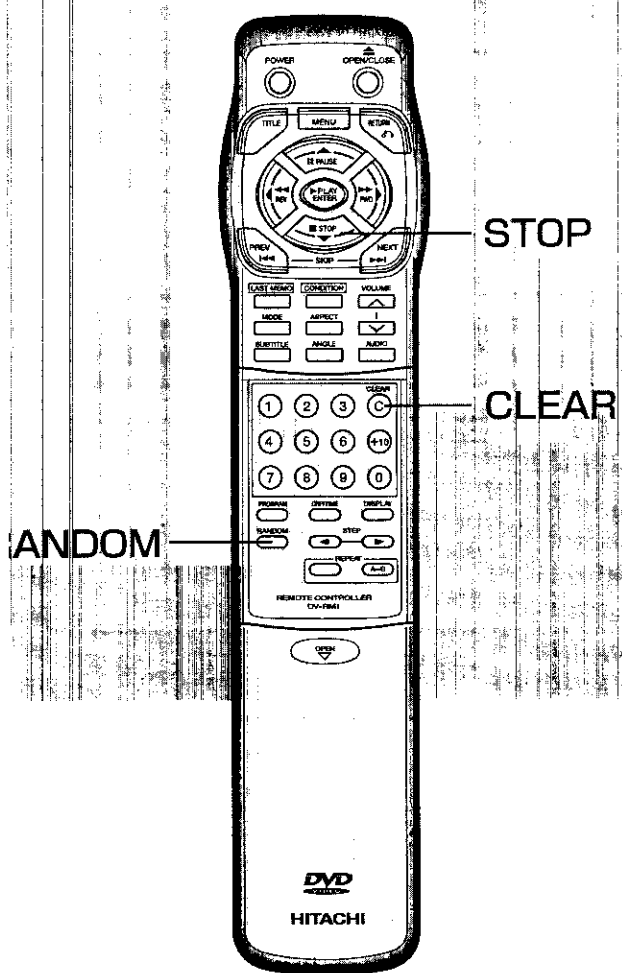
- ビデオ CD ではできません。
- 前面の [GUI] インジケータが点灯しているときは、PLAY/ENTER▶ ボタンを2秒程度押し続けてください。
- 指定した場所を取消するには、CLEAR ボタンを押します。

リピート再生を止めるには

CLEAR ボタンを押します。リピートモードは解除されます。再生はそのまま続きます。

CDを順不同で再生する (ランダム再生)

全てのトラック (曲) を本機が順不同に並び変えて再生します。全てのトラック (曲) の再生が終わると停止します。



■ランダム再生をする

RANDOM ボタンを押す。
●表示窓に R M と表示します。

■ランダム再生を止める

CLEAR ボタンを押す。

ランダム再生中に：

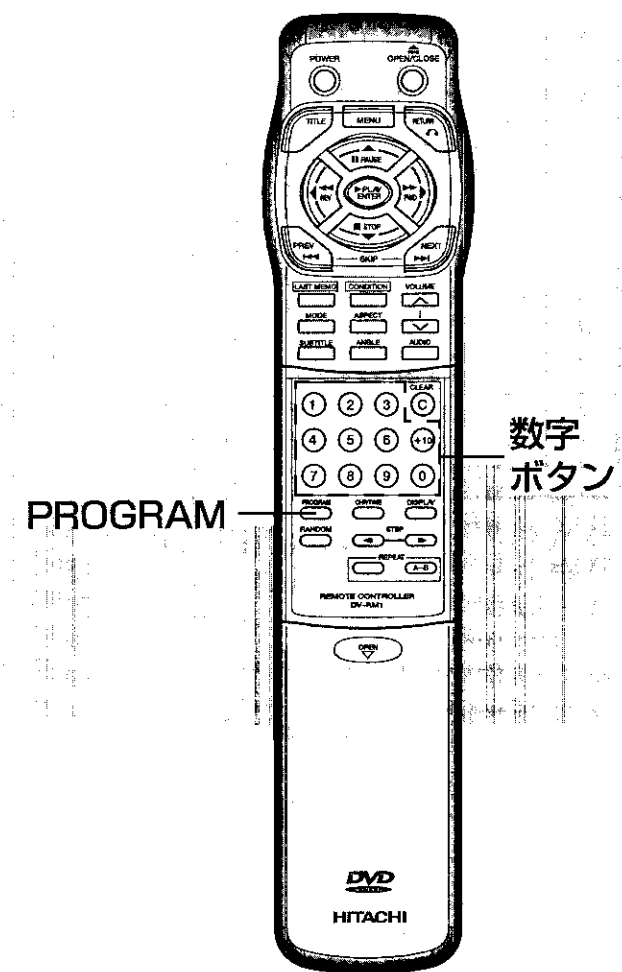
- NEXT▶▶ ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶ曲が再生されます。
- PREVI◀◀ ボタンを押すと、現在再生中の曲を始めから再生し直します。
- ランダム再生をやめるときは CLEAR ボタンを押します。通常再生に戻り、現在再生されている曲のあとを順番に再生していきます。
- ランダム再生中に RANDOM ボタンを押すと、その時の再生順序は解除され、新たな再生順序でランダム再生を再開します。

なるほど

- ビデオCDでは、メニューを表示して再生したとき (PBC再生) は、ランダム再生できません。ランダム再生するには、メニューを出さずに再生 (9 ページ参照) してから、または停止中に RANDOM ボタンを押してください。
- プログラムした内容をランダムに再生することはできません。

希望の順番に並び換えて再生する (プログラム再生)

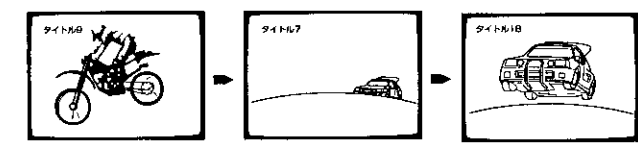
●DVDとビデオCD・CDでは、プログラムする内容が異なります。



プログラムの設定 (DVD)

DVDでは、①タイトルごとのプログラム、②チャプターのプログラムの2通りの設定ができます。

- PROGRAM ボタンを押す**
- プログラム種類を選択**
タイトル
チャプター
●タイトルプログラム
●チャプタープログラム
- チャプターを選んだときは、プログラムするチャプターがあるタイトルを数字ボタンで選択**
●タイトルを選んだときは、手順4へ進みます。
- DVDのタイトルまたはチャプターを9→7→18の順に設定する場合**
DVDのタイトル
DVDのチャプター
- PLAY/ENTER ▶ ボタンを押す**
●設定した順に再生します。



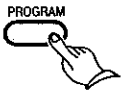
なるほど

- プログラムは最大24ステップです。
- 設定したプログラムの再生が終わると停止状態になります。
- 数字ボタンを押し間違えたときは、CLEARボタンを押してから正しい数字ボタンを押してください。
- 時間表示、チャプター表示の無いDVDのタイトルでは機能しません。

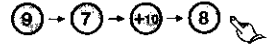
基本操作
応用操作
いろいろな設定
画面でいろいろな操作
準備
その他

プログラムの設定 (ビデオ CD・CD)

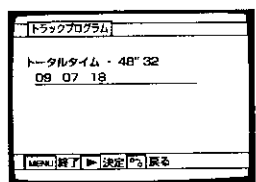
例：9 曲目→7 曲目→18 曲目の順に設定する場合


1  PROGRAM ボタンを押す

2 数字ボタンを 9、7、+10、8 の順に押す



ビデオ CD、CD



3  PLAY/ENTER ▶ ボタンを押す

●設定した順に再生します。

おや?


- ビデオ CD をメニューを使って再生 (PBC 時) しているときは、プログラムできません。
- チャプターの移り変わりのときに、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。故障ではありません。
- 再生中にリモコンの OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押すと、再生を停止します。(停止ボタンとして働く)

なるほど

一時停止 (ポーズ) をプログラムする：
数字のかわりに PAUSE ■ ボタンを押すと画面では ■ と表示し、ポーズがプログラムできます。

プログラムを追加する：
プログラム再生中、PROGRAM ボタンを押すと、プログラム入力画面になり、プログラムを追加することができます。追加後、PROGRAM ボタンを押すと、再生していたところから続けてプログラム再生します。

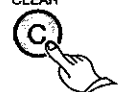
■プログラム再生を止めるには

 STOP ■ ボタンを 2 回押す

●DVD の場合、リモコンの STOP ■ ボタンは方向ボタン (▼) と併用しているので誤って停止をしないようにするため、STOP ■ ボタンを押すと、画面に「ストップ?」の表示が出ます。数秒後に「ストップ?」の表示は消えますが、表示中にもう一度 STOP ■ ボタンを押すと停止します。前面の停止 ■ ボタンや OPEN/CLOSE ▲ ボタンは 2 回押す必要はありません。


●プログラム再生を終了します。

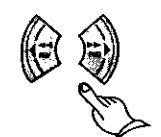
■プログラムをすべて消すには

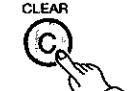
 CLEAR ボタンを押す

●ディスクテーブルを開いてもプログラムはすべて消えます。

■1 曲ずつ削除するには

1  PROGRAM ボタンを押す

2  ◀▶ ボタンで消したい曲を選ぶ

3  CLEAR ボタンを押す

●押すたびに後のプログラムから順に削除します。

プログラムを確認するには

プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとに PROGRAM ボタンを押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度 PROGRAM ボタンを押すと、プログラム内容表示が消えます。

いろいろな設定

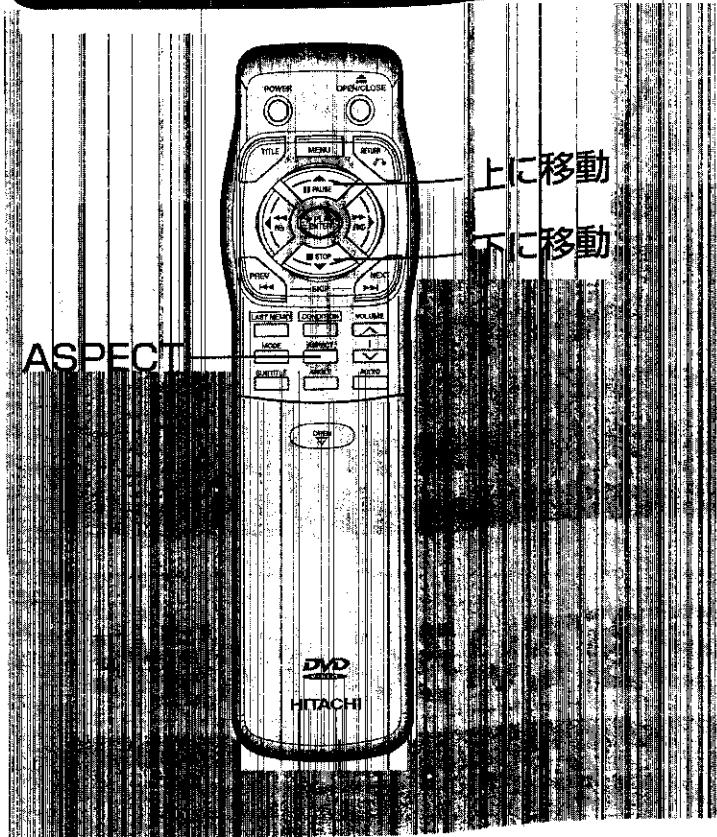
ワイドテレビ用ソフトの設定	22
画質や表示を切り換える	23
音量を調節する	24
情報を見る	24
よく見る DVD の各種設定を記憶させる	25

画面でいろいろな操作

字幕言語を選ぶ	26
見たい方向からの映像を選ぶ	26
音声言語を選ぶ	27
音声を切り換える	27
GUI (グラフィカルユーザーインターフェース)	
操作の概要	28
メインメニューについて	31
タイトルメニューについて	31
メニュー画面の内容	31
4 つのメニューについて	32
さまざまな設定を変更する	33

ワイドテレビ用ソフトの設定

画質や表示を切り換える



ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

4:3モードでは、上下の高さに合わせて映し出します。

- 映像の左右が欠けます。

レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。

- 上下の余った部分が帯状になります。

設定のしかた

- ワイドテレビ用に収録された映像が入ったソフトをディスクテーブルに入れる
- PLAY/ENTER▶ ボタンを押す

 - 再生が始まります。
- ASPECT ボタンを押す

4:3
レターボックス
ワイド

 - ディスクによっては2種類しかないものがあります。
- ▲▼ ボタンを押し、お好みのモード (4:3、レターボックス、ワイド) を選択する

 - 画面が切り換わります。
 - ASPECT ボタンを押すごとに切り換えることもできます。
 - 数秒後にアスペクト選択画面が消えます。また、PLAY/ENTER▶ ボタンを押すとアスペクト選択画面がすぐに消えます。

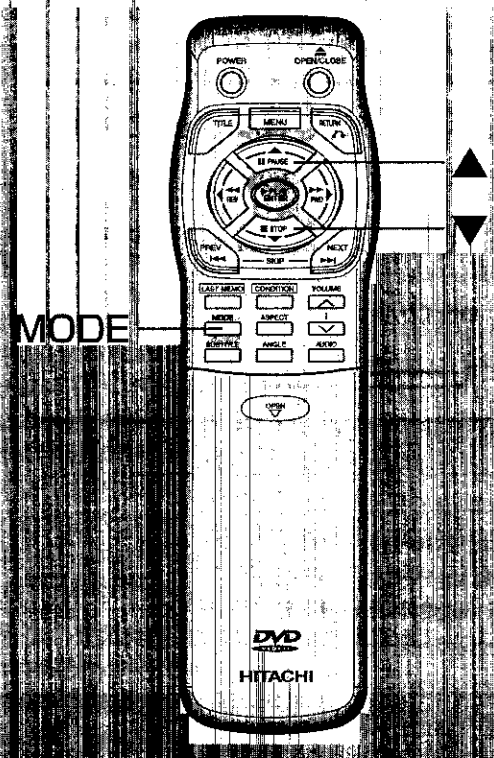
なるほど

- 通常のテレビは横4:縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16:縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。アスペクト情報の入っていないディスクでは切り換えられません。このようなディスクで ASPECT ボタンを押すと、⊙マークが画面の左下に表示されます。
- 4:3モードやレターボックスモードで記録されたDVDでは切り換えできません。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。

映画、アニメ等の映像をお好みの映像に切り換えられます。



設定のしかた

MODE ボタンを押す

押すごとに次のように切り換わります

- ▲▼ ボタンを押しても切り換わります。

シネマ1 → シネマ2 → アニメーション → スタンダード

シネマ1

画質：変化しません
機能：表示窓を消灯

シネマ2

画質：黒をクッキリとさせたメリハリのある映像にします。
機能：表示窓を消灯

アニメーション

画質：色をハッキリさせた美しい映像がお楽しみいただけます。

スタンダード

画質、機能ともに通常に戻ります。

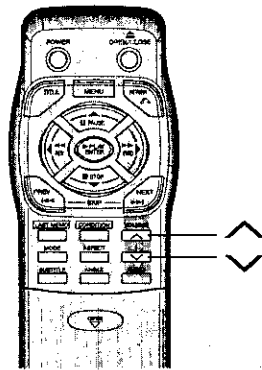
なるほど

- スタンダードモードでは一時停止すると静止画になりますが、シネマモード、アニメモードでは、それぞれ専用の一時停止画面になります。

ご注意

- ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合があります。その場合はスタンダードにしてください。

音量を調節する



ご注意

本機能による設定は電源を切っても記憶していますが、電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、記憶できません。電源コードを抜くときは、必ず前面の電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。

音量調節

リモコンで音量の調節ができます。

VOLUME (▲) ボタンを押す

- 音量が大きくなります。

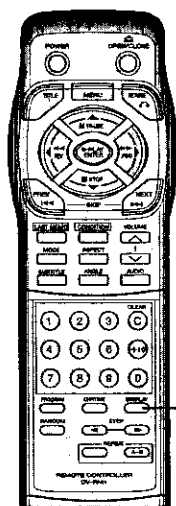
VOLUME (▼) ボタンを押す

- 音量が小さくなります。

なるほど

- 音声出力端子 1 または 2 に出力される音声のみ調節できます。
- 本機能は他の機器と音量レベルを合わせるためのサブボリュームとお考えください。したがって、ビデオ、チューナーなど他の機器との音量レベルを合わせたら、通常はテレビやオーディオアンプのボリュームで音量調節をすると使いやすくなります。

情報を見る



DISPLAY

情報を見る

再生中に DISPLAY ボタンを押す

- DVD：押すごとにタイトルナンバー、チャプターナンバー、再生時間等が表示されます。
- ビデオ CD (PBC 再生時を除く)・CD：押すごとにトラックナンバー、再生時間等が表示されます。
- ディスクメニューなどの場所やタイトルによっては表示しません。

停止中に DISPLAY ボタンを押す

- ディスク情報が表示されます。

DVD タイトル内再生時間 [再生中]

タイトル番号 4-1 0:18 再生中

チャプター番号 1

リメインタイム 2:08

サブタイトル 1 8-7-1

ボタン、PLAY/ENTER、数字ボタンが働くことになっています。この表示があるときは、前面の GUI インジケータが点灯しています。

CD、ビデオ CD トラック内再生時間 [再生中]

トラック番号 1 0:18 再生中

リメインタイム 2:08

リメインタイムトラック：再生中の曲の残り時間
リメインタイムオール (CDのみ)：再生中のところからディスクの最後までまでの残り時間
トータルタイム：再生中のタイトルの総再生時間

DVD [停止中]

トラック	タイム	タイトル	チャプター
01	1:1	08	1-7
02	1:2		
03	1:3		
04	1:4		
05	1:5		
06	2:0		
07	2:1		
08	2:2		
09	2:3		
10	2:4		
11	2:5		
12	3:0		
13	3:1		
14	3:2		
15	3:3		
16	3:4		
17	3:5		
18	4:0		
19	4:1		
20	4:2		
21	4:3		
22	4:4		
23	4:5		
24	5:0		
25	5:1		
26	5:2		
27	5:3		
28	5:4		
29	5:5		
30	6:0		

DISPLAY 終了

CD、ビデオ CD [停止中]

トラック	タイム	トラック	タイム
01	5:00	06	6:30
02	6:00	07	10:00
03	4:00	08	4:00
04	5:00		
05	5:30		

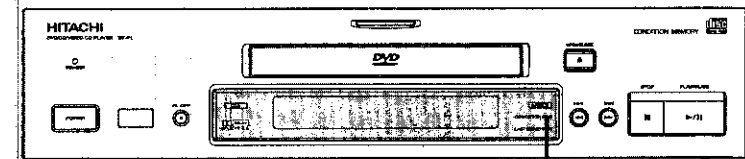
DISPLAY 終了

よく見る DVD の各種設定を記憶させる

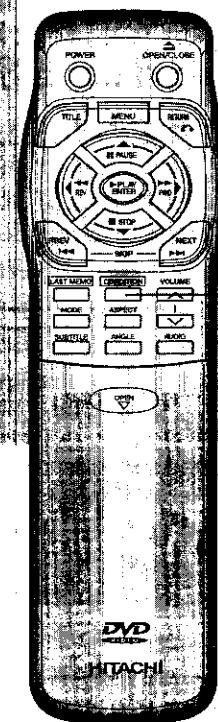
よく見る DVD の設定内容をディスク 1 枚ごとに記憶させることができます。

設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、コンディションインジケータが点灯します。このとき、再生をすると前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容はマルチアスペクト (22 ページ)、シネマモード/アニメモード (23 ページ)、マルチ言語字幕 (26 ページ)、マルチ音声 (27 ページ)、表示位置 (33 ページ)、の 5 つです。



コンディションインジケータ



CONDITION

記憶のしかた

再生中に CONDITION ボタンを押す

●前面のコンディションインジケータが点灯します。

なるほど

- 一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
- 記録できる枚数は最大で 30 枚分です。それを超えると、古く記録したものが消されて、新しく記録した内容になります。古く記録されたものでも、呼び出されると最新の記録となります。
- 設定を変更したい場合は、アスペクト、シネマモード/アニメモード、字幕言語、音声のいずれかを設定しなおし、再生して CONDITION ボタンを押します。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。

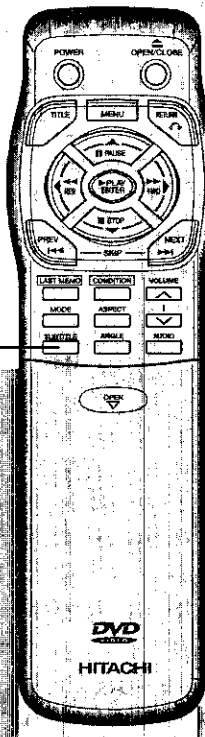
基本操作
応用操作
いろいろな設定
画面でいろいろな操作
準備
その他

字幕言語を選ぶ

複数の字幕言語が記録された DVD では、字幕言語を選ぶことができます。

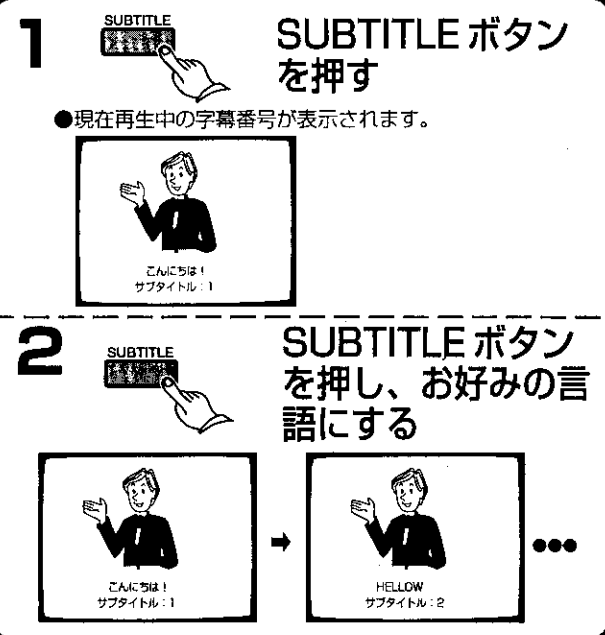
●メニューを使っても選べます。(28、32 ページ参照)

●字幕言語を消したい場合：
再生中は SUBTITLE ボタンを押して字幕番号が表示されている間に CLEAR ボタンを押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選択すると消すことができます。



SUBTITLE

再生中

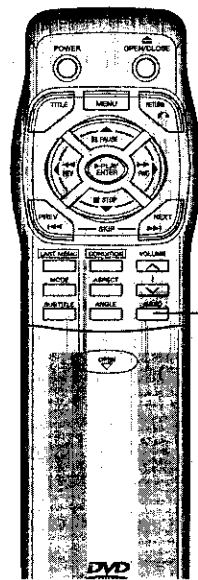


おや?

字幕言語が切り換わらないときは、字幕が記録されていない、またはお好みの言語が記録されていないためです。

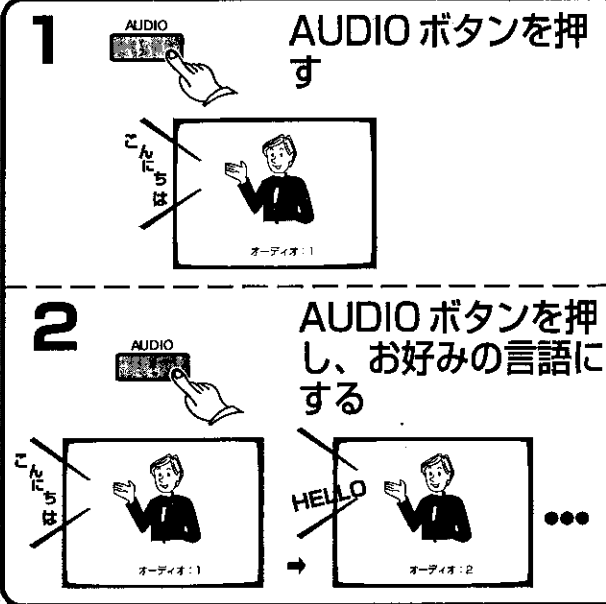
音声言語を選ぶ

- メニューを使っても選べます。(28、32 ページ参照)
- DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声をいろいろな言語で記録されています。お好きな音声言語をお楽しみください。



AUDIO

再生中



おや?

音声言語が切り換わらないときは、音声言語が1言語しか記録されていないためです。

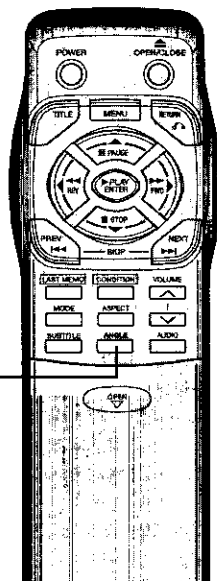
見たい方向からの映像を選ぶ

マルチアングル

複数の方向から映された映像が記録された DVD で選ぶことができます。

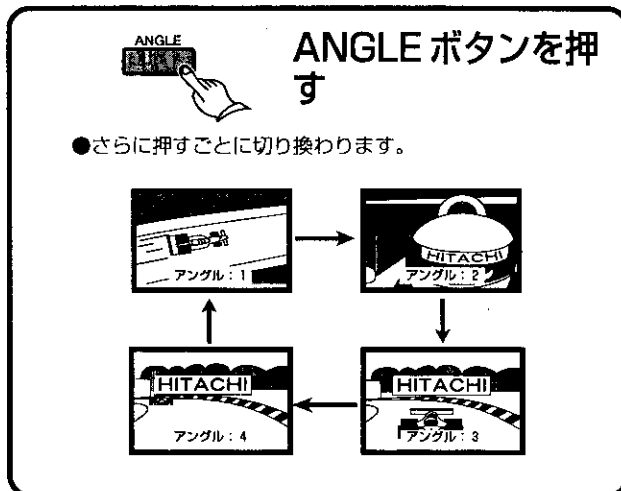
ここでは、一般的な選び方を紹介します。

●メニューを使っても選べます。(28、32 ページ参照)



ANGLE

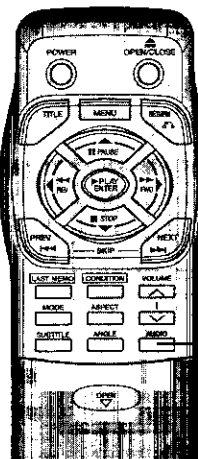
再生中



なるほど

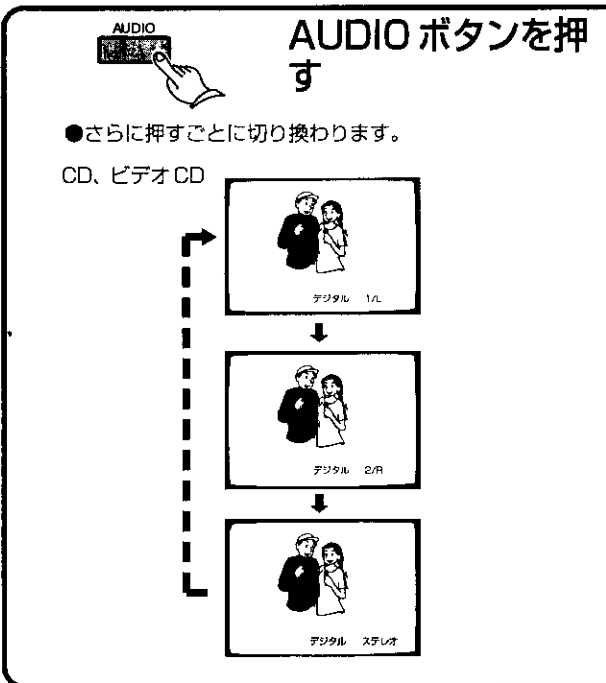
- マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
- ANGLE ボタンを押してからアングルが切り換わるまで1~2秒かかる場合があります。

音声を切り換える



AUDIO

再生中



なるほど

カラオケソフトなどで、歌と伴奏の音声にするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせてください。

ご注意

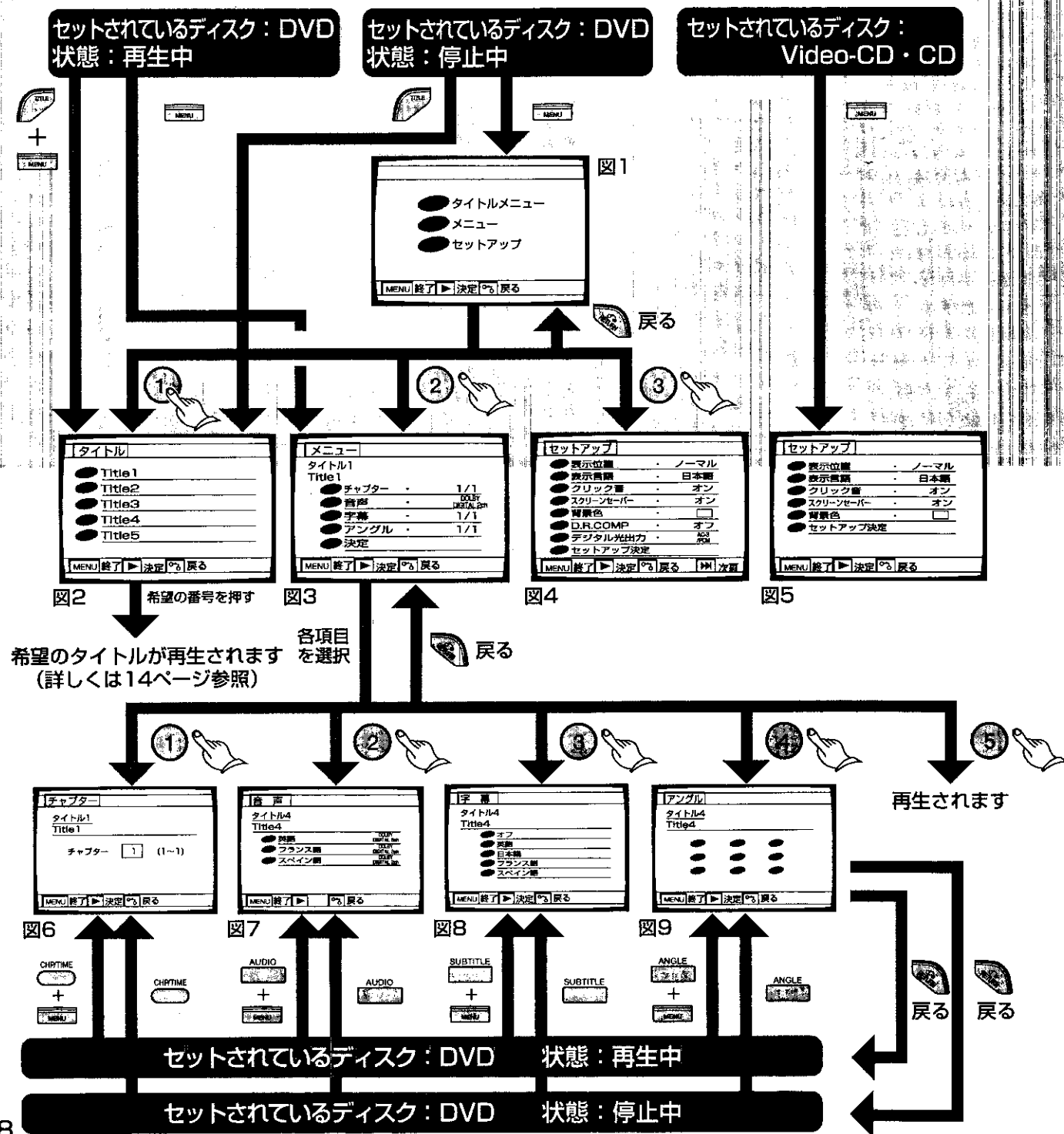
ビデオ CD の、デジタル出力音声 (光、同軸) では切り換わりません。

画面でいろいろなお操作

GUI (グラフィカルユーザーインターフェイス) 操作の概要

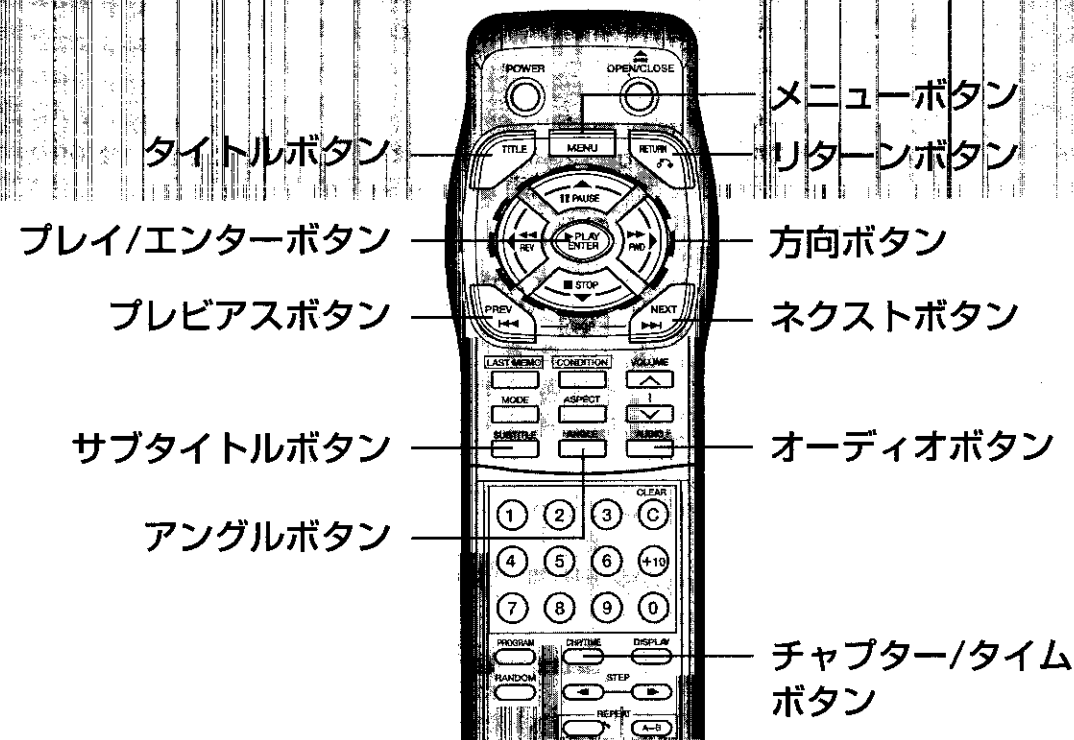
本機ではいろいろな設定を画面を見ながらリモコンでおこないます。ここではメニュー画面への入り方を説明します。ディスクの種類や再生・停止などの状態によってメニュー画面への入り方が異なりますので、下のメニューマップを参考にしてください。

メニューマップ



各メニュー内でのボタンのはたらき

ボタンの名称	ボタンのかたち	はたらき
メニューボタン		メニュー画面からぬける (設定した内容は無効になります)
リターンボタン		1つ前のメニュー画面へ戻る (設定した内容は無効になります)
数字ボタン		選択し決定する (セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります。)
方向ボタン		選択
プレイ/エンターボタン		決定し実行する (タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります)
プレビアスボタン		前のページへ
ネクストボタン		次のページへ
各メニューへ移動するボタン		各メニューへ移動 (設定した内容は無効になります)

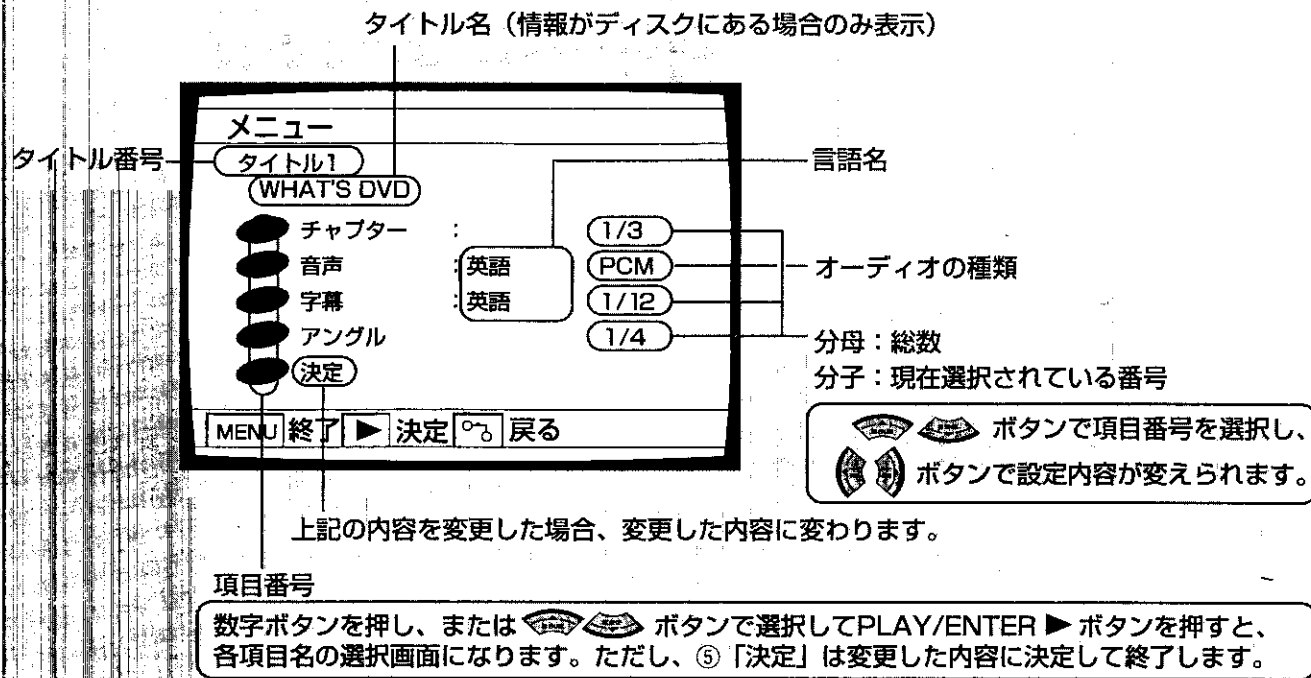


ご注意

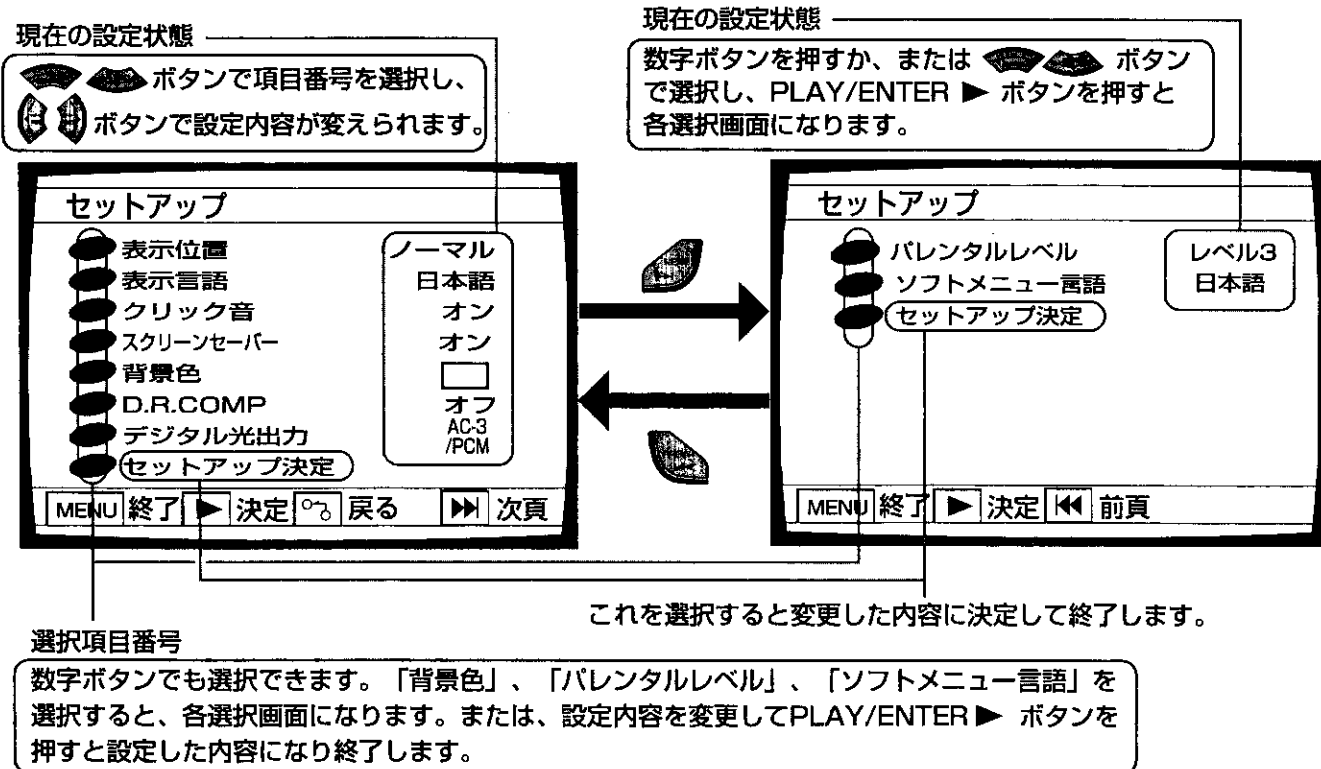
- 直接メニューを出すボタンにより、各メニュー間を切り換えられますが、移動前に設定した内容は無効となります。
- どのメニュー画面からもMENUボタンでメニュー画面から抜けることができます。画面はメニュー呼び出し前の状態に戻ります。この場合、設定した内容はすべて無効になります。
- RETURNボタンで前の位置や状態に戻ることができます。この場合、戻る前のメニュー内での設定した内容は無効になります。
- タイトル、チャプター、サブタイトル、オーディオ、アングルの各メニューは再生するディスクによって異なります。
- 方向ボタン(◀▶▶▶▶)は、ディスクによるメニューのメニュー操作時(前面のGUIインジケータ点灯時)は2秒以上押し続けると、メニュー操作でないときの働き(早戻し、早送り、一時停止、停止)として働きます。ただし、その中で、リモコンのSTOPボタンは方向ボタン(▶)と併用しているので、誤って停止をしないようにするため、STOPボタンを押すと、画面に"ストップ?"の表示が出ます。数秒後に"ストップ?"の表示は消えますが、表示中にもう一度STOPボタンを押すと停止します。

画面表示と操作の例

例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき



例2：セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき



メインメニューについて

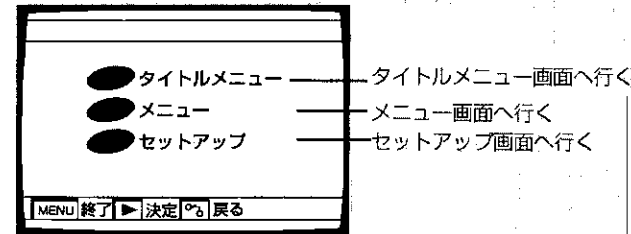
図1

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主(メイン)画面です。

タイトルメニュー画面では:
タイトルを選んで再生することができます。(タイトルサーチ)

メニュー画面では:
タイトル中のチャプター(曲)、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

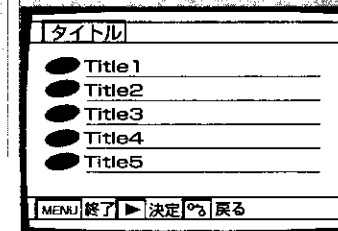
セットアップ画面では:
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。



タイトルメニューについて

図2

タイトルメニュー



タイトルを選んで再生できます。
14ページの「タイトル番号で直接探す」と同じ選択画面です。
ディスクにタイトルメニューが記録されている場合は、ディスクのメニューを表示します。

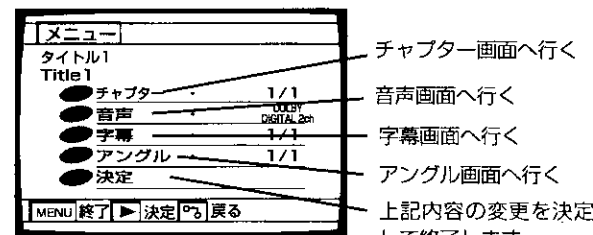
メニュー画面の内容

図3

タイトル中のチャプター、字幕の内容、音声、アングルを選ぶ画面です。ディスクにメニューが記録されている場合は、ディスクのメニューを表示します。

チャプター画面では:
1つのタイトル中のチャプター(曲)を選んで再生することができます。

メニュー画面



音声画面では:
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

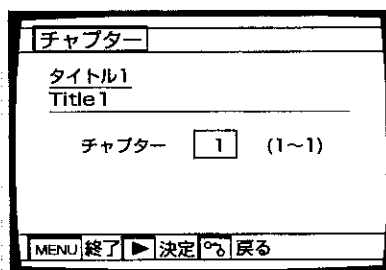
字幕画面では:
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

アングル画面では:
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中から好みのものを選ぶことができます。

4つのメニューについて

これらのメニューは停止中に操作ボタン (CHP/TIME ボタン、SUBTITLE ボタン、AUDIO ボタン、ANGLE ボタン) を押したときと同じメニューです。ディスクに以下の4つのメニューに相当する内容が記録されている場合は、ディスクのメニューを表示します。各メニューに対応した操作をお楽しみください。また、ディスクにメニューが入っていない場合は、本機のメニュー (下記のメニュー) を表示します。

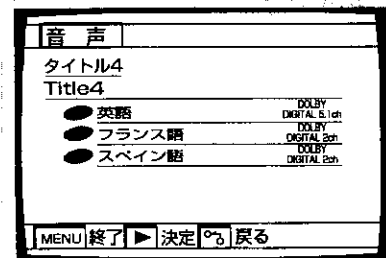
チャプターメニュー



チャプターメニュー:
チャプターを選んで再生できます。

メニューを使わない方法については15ページの「チャプター番号で探す」を参照ください。

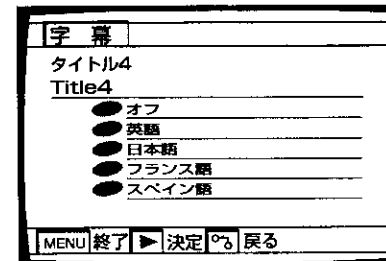
音声メニュー



オーディオメニュー:
音声言語や音声の種類を選ぶときのメニューです。

メニューを使わない方法については27ページの「音声言語を選ぶ」を参照ください。

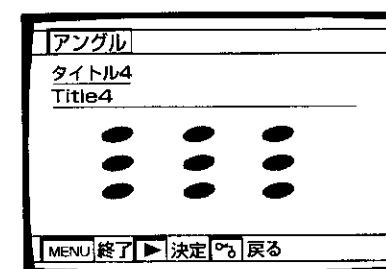
字幕メニュー



サブタイトルメニュー:
字幕を選ぶときのメニューです。

メニューを使わない方法については26ページの「字幕言語を選ぶ」を参照ください。

アングルメニュー

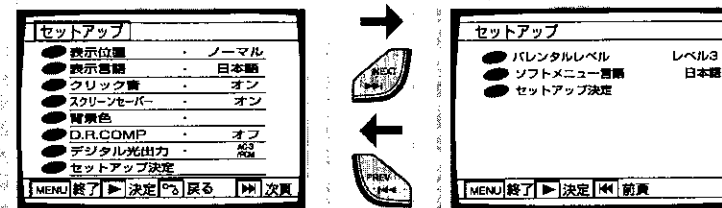


アングルメニュー:
見たい方向からの映像を選ぶときのメニューです。

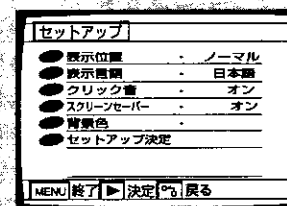
メニューを使わない方法については26ページの「見たい方向からの映像を選ぶ」を参照ください。

さまざまな設定を変更する

DVD のときのセットアップメニュー



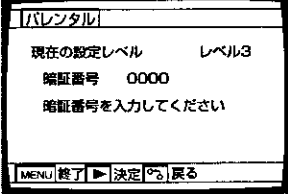
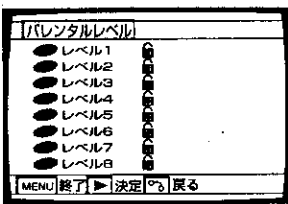
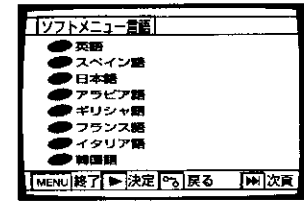
CD、ビデオCDのときのセットアップメニュー



初期状態 (工場出荷時)

① 表示位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示をみることができるようになります。	ノーマル 通常のテレビ (4:3) を使用するとき	ワイド ワイドテレビを使用する場合 (メニュー画面は対応していません。)
② 表示言語	動作表示と各メニュー画面を日本語表示が英語表示に切り換える設定です。	日本語 例) プレイ	英語 例) PLAY
③ クリック音	画面で設定するとき、操作音を出すか出さないかの設定です。	オン*1 音が出る	オフ 音が出ない
④ スクリーンセーバー	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間 (5分以上) 表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。	オン スクリーンセーバーが機能する	オフ スクリーンセーバーが機能しない
⑤ 背景色	メニュー画面や停止状態の画面の色を8色の中から、お好みの1色を選択できます。(初期状態は4番の色です。)	<p>選んだ色に変わります</p>	

基本操作
応用操作
いろいろな設定
画面でいろいろな操作
準備
その他

⑥ D.R.COMP	ダイナミックレンジコンプレッションのことで、DVDでは、音声のダイナミックレンジが広がっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会議等の音声が聞きづらい場合、オンに設定します。	オフ 広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。	オン ダイナミックレンジを圧縮します。
⑦ デジタル光出力	本機の光デジタル出力端子から出力する音声を変更できます。DVDでは、ドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニアPCM（CDでおなじみのデジタル音声）2通りの規格があります。 AC-3/PCM ドルビーデジタルの音声は、そのままドルビーデジタル信号で出力し、リニアPCMの音声なら、リニアPCMの音声で出力します。 PCM ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの音声で出力します。	AC-3/PCM ドルビーデジタル（AC-3）デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル（AC-3）光入力端子と接続した場合。	PCM 通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプなどの光入力端子と接続した場合。
⑨ パレンタルレベル	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。本プレーヤーはディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーン等で子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態*2に戻して再び設定できます。	 <p>数字ボタンで暗証番号を設定する。</p>  <p>制限レベルを設定する。</p>	
⑩ ソフトメニュー	ディスクに入っているメニューの言語が何カ国語にも対応しているものでは、その中から選べます。		
⑧ セットアップ終了 ⑪ セットアップ終了	セットアップ画面で変更した内容で終了します。	—	

ご注意

- * 1 デジタル出力端子（光、同軸）ではAC-3 デジタル出力時はクリック音は出ません。
- * 2 パレンタルレベルの暗証番号、コンディションメモリー、ラストメモリー、セットアップ情報等のすべての設定を初期状態（工場出荷時）に戻すには、電源がオフの状態から、前面のストップボタン（■）を押しながら電源スイッチ（POWER）を押してください。
- 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。

準備

ご使用の前に

- 付属品を確認しよう 36
- リモコンに電池を入れる 36

接続のしかた

- 音声 / 映像入力のある AV テレビを使用する場合 37
- VTR と組み合わせて使用する場合 38
- ドルビーサラウンドで再生したい場合 38
- 音声をより良い音質で再生したい場合 39
- さらにデジタル録音機器を接続したい場合 39

各部の名称

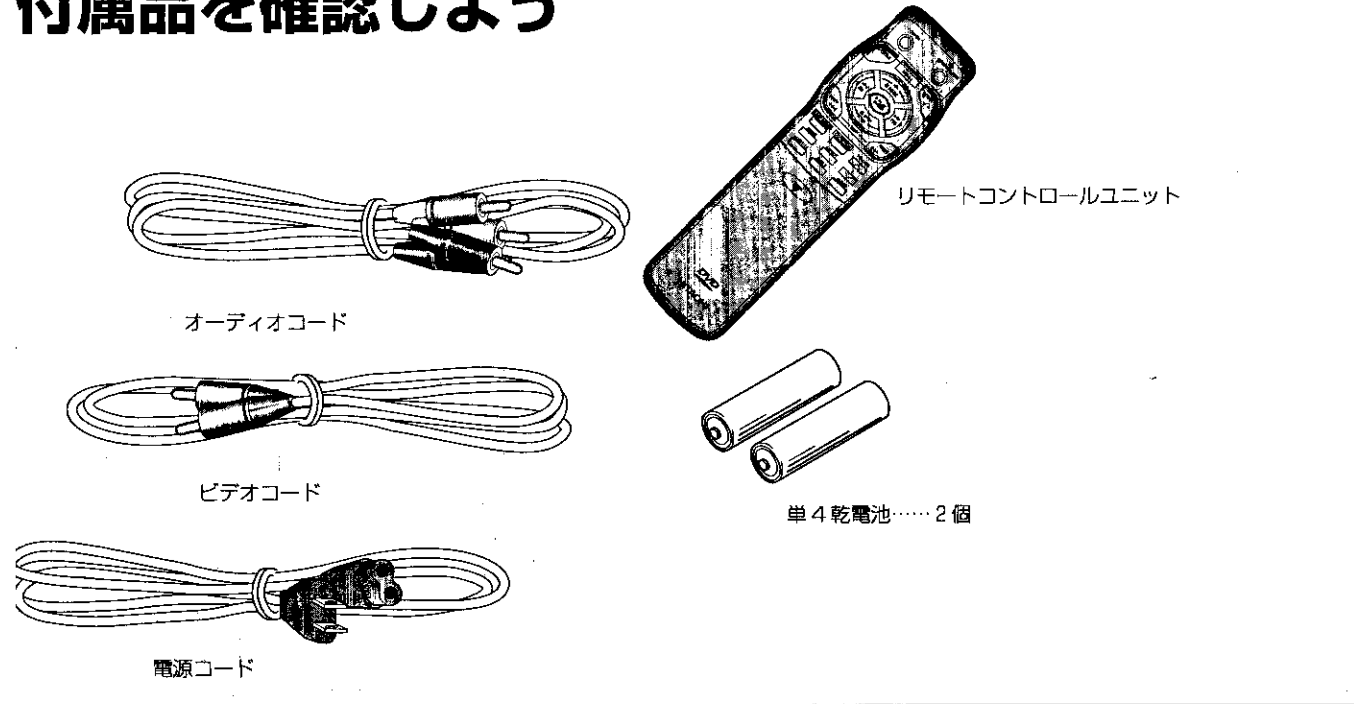
- 前面部 40
- 表示窓 40
- 後面部 41
- リモコン 42

その他

- 正しく、末永くお使いいただくために 43
- 用語 44
- 故障かな？と考える前に 46
- 保証とアフターサービス 47
- 仕様 47

ご使用のまえに

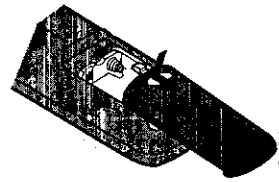
付属品を確認しよう



リモコンに電池を入れる

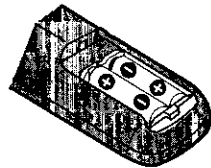
1 裏ボタンを押しながら矢印の方向へ引きます

●フタがはずれます。

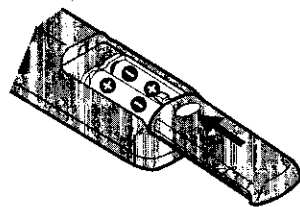


2 単4形電池を入れる

●乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを乾電池の表示通りに入れてください。



3 フタを閉める



ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

接続のしかた

お手持ちのテレビ(ビデオ)に合わせて下記より選んでください。

	お手持ちの機器	参照する図	コメント
映像入力のあるテレビ		図1	AVテレビに映像入力があり、空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。
テレビとVTRが接続されている		図2	テレビの映像入力が2~3系統あり、映像入力がないならば、図1の接続の方が便利です。
ドルビーデジタル(AC-3)入力のあるアンプ		図3	ドルビーデジタル(AC-3)入力のあるアンプに接続する場合は、図1の接続の方が便利です。

- さらに、通常のステレオアンプなどと接続もできます。これらの機器とも接続する場合は図4、5を参照してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

テレビへの接続はステレオテレビ、モノラルテレビどちらか一方の接続になります。

S映像入力端子のあるテレビのとき

モノラルテレビのとき

ステレオテレビのとき

ビデオコード

オーディオコード

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

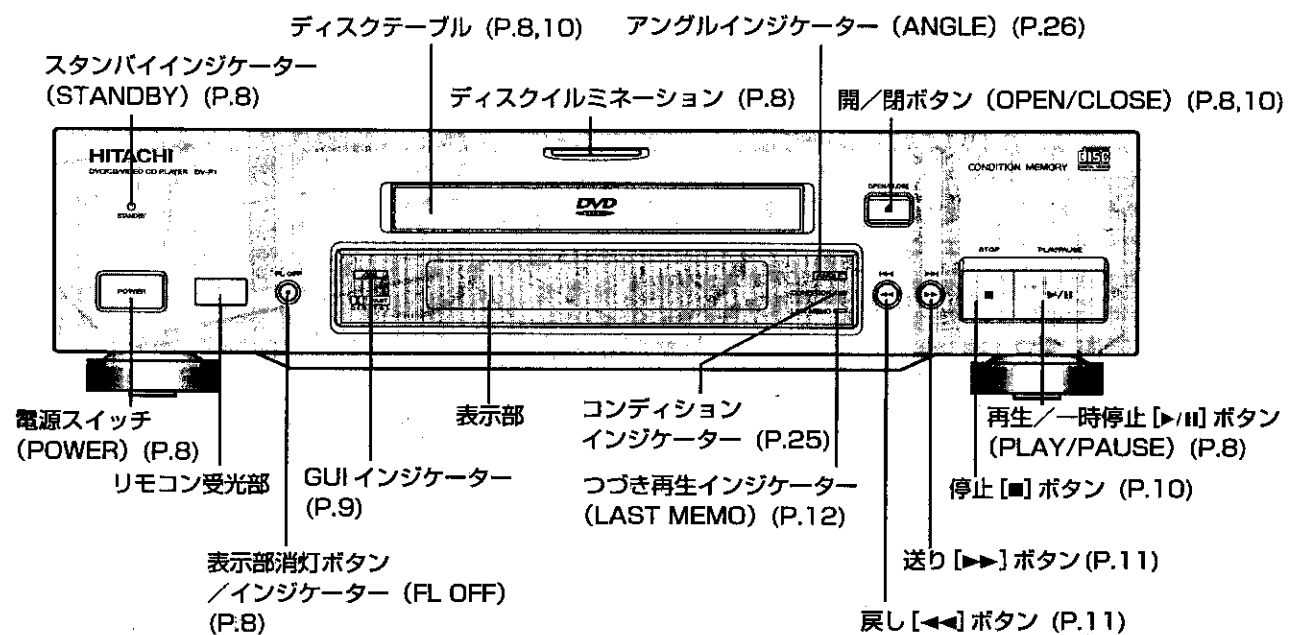
ご注意
実線のケーブルは付属のコードです。
点線のケーブルは市販のコードをご利用ください。

基本操作
画面の表示
準備
その他

各部の名称

■前面部

1 印は、説明のあるページです。



表示窓

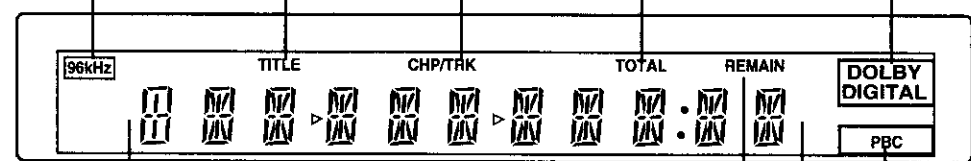
サンプリング周波数が 96kHz のディスクを再生すると点灯します。

タイトル表示中を示します。

チャプターやトラックの表示中を示します。

総再生時間表示を示します。

ドルビーデジタル再生中を示します。



下記のような操作時の機能やタイトル、ディスクの種類などが表示されます。

再生の残り時間表示を示します。

ビデオCDのプレイバックコントロール中を示します。

[CD]: コンパクトディスク

[DVD]: DVD

[VCD]: ビデオCD

[OPEN]: ディスクテーブルを開く動作中や開いている時

[CLOSE]: ディスクテーブルを閉じる動作中

PLAY: 再生開始

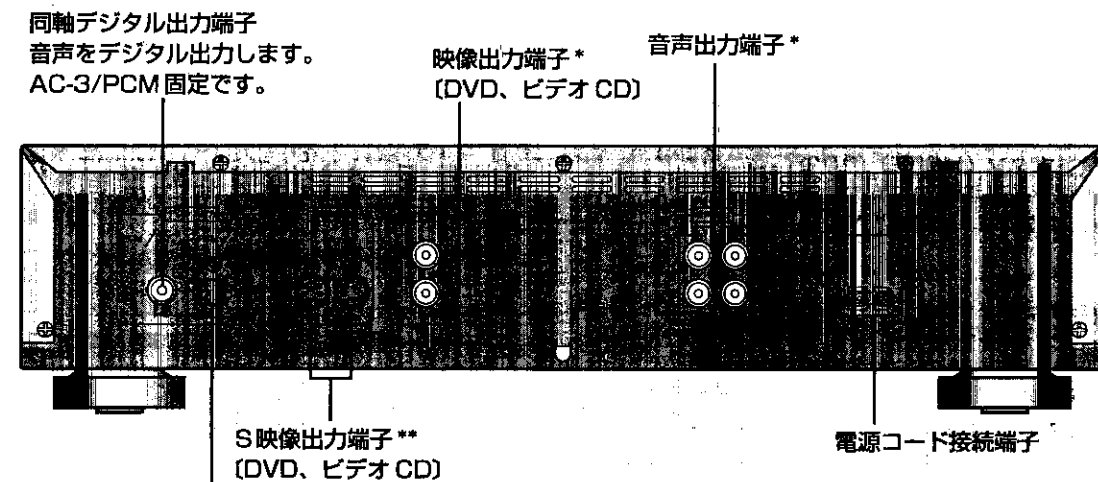
STOP: 再生停止

PAUSE: 一時停止

NO DISC: ディスク無し

-- OFF --: 電源が切れる

■後面部



* 1と2があり、2系統同時接続できます。
たとえば、1-をテレビに接続し、2をAVアンプに接続することができます。

** S2映像出力は1側です。通常のS映像出力は2側です。

RANDOM: ランダム再生

PROGRAM: プログラムモード

REPEAT: くり返しモード

REPEAT: 2点間くり返しの初めの点

REPEAT: 2点間くり返し

REPEAT: タイトルのくり返し

CONDITION MEMORY: コンディションメモリー

LAST MEMORY: つづき再生

CINEMA 1: シネマ1モード

CINEMA 2: シネマ2モード

ANIMATION: アニメーションモード

STANDARD: 標準モード

STEREO: ステレオ

MENU: メニュー状態

TITLE: タイトルメニュー時

CHAPTER: チャプターメニュー時

SUB-TITLE: サブタイトルメニュー時

SETUP: セットアップメニュー時

ANGLE: アングルメニュー時

AUDIO: オーディオメニュー時

DOLBY DIGITAL 5.1CH:

ドルビーデジタルサラウンド5.1ch

PCM 96K: 96KPCMオーディオ

PCM 48K: 48KPCMオーディオ

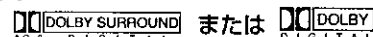
MPEG AUDIO: MPEG1またはMPEG2

オーディオ

用語

ドルビーデジタル (AC-3)

映画館用サラウンドシステム (Surround Digital) の最大 5.1 チャンネル分の音声を AC-3 で圧縮されたデジタルデータです。



DVD では本機のデジタル出力 AC-3/PCM 端子 (同軸または光どちらでも可) をアンプやプロセッサのデジタル入力 AC-3/PCM 端子へ接続する必要があります。

PCM

Pulse Code Modulation の略でデジタル音声のことをいいます。CD や DVD のデジタル音声は PCM です。

タイトルナンバー

映画などでいうタイトルのことです。DVD は大容量なので、1 枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる 3 つの映画が記録されていますと、タイトル 1、タイトル 2、タイトル 3 に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

チャプターナンバー

ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

ビデオ CD

MD と同等の音質と VHS 並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術 (MPEG1 方式) により最大 74 分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオ CD にはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール (PBC)”対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオ CD (バージョン 2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画

ビデオ CD の中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の 4 倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

クリック音

リモコンやコンピュータのマウスなどのプッシュスイッチを押した時、動作確認がわかりやすいように押した瞬間、音を出す機能をクリック音といいます。通常はクリック音があったほうが動作確認はしやすいのですが、近くにおやすみの方がいらっしゃる時など、耳障りに感じる場合がありますので、本機ではクリック音を消す設定ができるようにしてあります。

スクリーンセーバー

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がることがあります。これを避けるため、コンピューターではスクリーンセーバーを使用することがあります。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、コンピューターのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一部分に強い光線 (明るい色) が集中しないようにするものもあります。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の 1 つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べば、見たいところが見れるわけです。DVD には同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものが、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4:3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16:9 の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

バレンタルレベル

英語の綴りでは、バレンタル PARENTAL です。これは、ペアレント PARENT (親、両親) からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー

コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

言語字幕

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD では字幕の言語を最大 32 カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号 (リージョン No.) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません (このとき、画面に表示がでます)。このプレーヤー (日本向け) の再生可能地域番号は 2 番です。

再生可		再生不可	
プレーヤー	ディスク	プレーヤー	ディスク

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。(アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。)

ダイナミックレンジ

ひずみ無く信号を送る、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル (dB) を使います。

ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、AC-3、及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。著作権 1992 年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。

故障かな？と考える前に…

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原|も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

	症状	考えられる原因	参照ページ	
作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	●ディスクが極端に汚れている。 ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ●プレーヤーの内部が結露している。	4 ページ 8 ページ	
	2. 再生できない	●PAL 方式や SECAM 方式の DVD では再生できません。		
	3. 再生中に画像が乱れる	●本プレーヤーはマクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、TV によっては一部画像に横縞が入る等の症状がでるものもありますが、故障ではありません。		
	4. DVD の映像を VTR に録画すると再生画像が乱れる	●本プレーヤーはマクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR に録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。		
	モート ントロール	5. リモコンで操作できない。	●プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ●電池が消耗している。	42 ページ
		6. テレビなどが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
声	7. 音が出ない。音が歪む。	●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ●接続プラグや端子が汚れている。 ●ポーズモードになっている。 ●音声ケーブルの接続が間違っている。 ●ステレオアンプの操作が間違っている。(とくに、入力を選択が正しくされているか(CD、LD 等) 確認してください。) ●ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。	37~39 ページ	

注意：
電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度し込むことにより正常に動作します。

保証とアフターサービス

●必ずお読みください。

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、46ページの「故障かな？と考える前に…」の項にもとづいてお調べいただき、それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- セットの改造は絶対にしないでください。故障の原因になるばかりでなく、安全面での保証ができなくなります。尚、改造された製品については、保証期間中でも、改造セットが原因の事故に関しては、責任を負いかねます。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスをうけられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- 万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、下の内容をお知らせください。

品名	DVDプレーヤー
形名	DV-P1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
ご訪問希望日	

仕様

一般

形名	DV-P1
使用レーザー	半導体レーザー：波長 635nm
電源	AC100V、50/60Hz 共用
消費電力	19W
質量	3.8kg
外形寸法	420 (幅) × 307 (奥行) × 101 (高さ) mm
許容動作温度	+5℃ ~ +35℃
許容動作湿度	5% ~ 85% (結露のないこと)

S映像出力<2系統>

1がS2映像出力、2がS映像出力です。

Y出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
C出力レベル	286mVp-p (75 Ω)
出力端子	S端子

ビデオ出力<2系統>

出力レベル	1Vp-p (75 Ω 負荷時、同期負)
出力端子	ピンジャック

オーディオ出力<2系統>

出力レベル	デジタル音声出力 200mVrms (1KHz、-20dB)
チャンネル数	2チャンネル

デジタル音声特性

周波数特性	4Hz~22KHz
SN比	115dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ	97dB (EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.003%
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (EIAJ)

その他の端子

光デジタル出力 (AC-3/PCM(PCMのみに切換可))	光コネクタ
同軸デジタル出力(AC-3/PCM)	ピンジャック

付属品

リモコンユニット (DV-RM1)	1
単4形乾電池 (R03)	2
オーディオコード	1
ビデオコード	1
電源コード	1

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

AV機器を正しく安全にご使用いただくために

使用上のご注意

取扱説明書 別冊

- ご使用前に必ずこの「使用上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「使用上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

<ご使用前に>

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

安全上のご注意

警告

■万一、異常が発生したとき

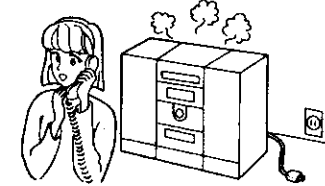
- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

- 音が出ない、変な音がするなどの故障状態で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜くこと



- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■表示以外の電源で使用しないでください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。



■液体の入った容器などを置かないでください。

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■雷が鳴り出したら

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。また、屋外で使用しているときはすぐにアンテナをたたんで使用を中止し機器から離れてください。

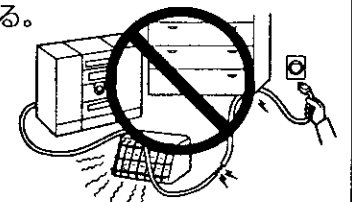


接触禁止

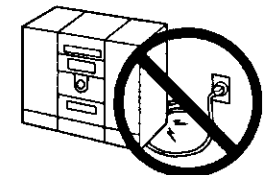
■電源コードを大切に

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っばったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

- ・コードをひっぱる。
- ・重い物の下敷き
- ・コードの破損
- ・熱器具のそば



- 電源コードが本機の下敷きにならないようご注意ください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を敷きものなどでおおうことにより、それに気づかないで重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

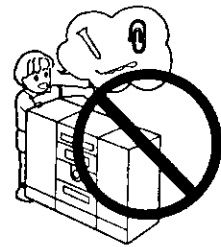
- 電源プラグはホコリが付着していないことを確認し、ガタツキのないように、刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因となります。



警告

■異物を入れないでください

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



プラグをコンセントから抜くこと

■風呂場では使用しないでください

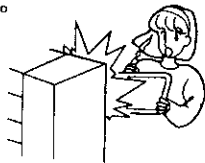
- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

■本機のふたをはずさないでください

- 本機のカバーや裏ふたを外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

■改造しないでください

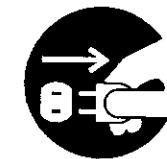
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

■衝撃を与えないでください

- 万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜くこと

■ボタン電池について

- 使用しているボタン電池を取外した場合は、小さなお子様ボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください。
- 電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



■交通事故に注意してください

- 自動車・オートバイなどの運転中、または自転車に乗りながら絶対にヘッドホン、イヤホンを使用しないでください。交通事故などの原因となります。
- 歩行中にヘッドホンステレオなどを聞く場合（特に踏切や交差点など）は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。



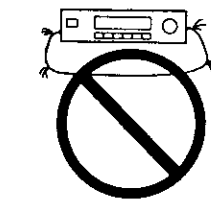
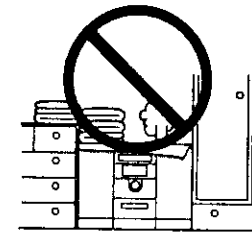
注意

■通風孔をふさがらないでください

- 本機の通風孔をふさがらないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

次のような使い方はしないでください。

- 風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - じゅうたんや布団の上に置く。
 - テーブルクロスなどを掛ける。
- また、アンプを設置する場合は、通風孔が壁から10 cm以上離れるように、間隔を置いて据え付けてください。



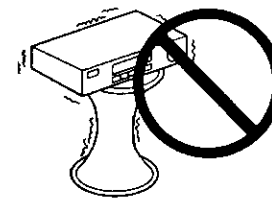
■乗ったり、ぶら下がったり、重い物を置いたりしないでください

- AV機器などの上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上に重い物や外枠からはみ出るようなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



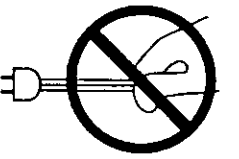
■不安定な場所に置かないでください

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。カラオケシステムなどの重いものは特にご注意ください。
- カラオケシステムなどの上にテレビを設置する場合は、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビを乗せることができるかどうかは、本体取扱説明書に従ってください。



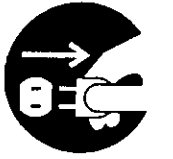
■電源コードを粗雑に扱わないでください

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



■お手入れのときは

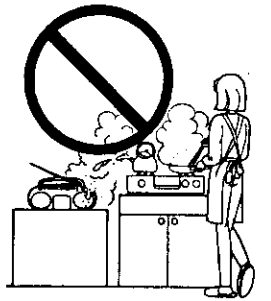
- お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



プラグをコンセントから抜くこと

■湿気やほこりの多いところに置かないでください

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



■キャスター(車)止めをしてください

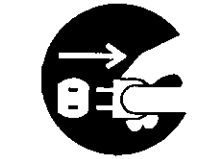
- キャスター付きカラオケシステムを設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

■持ち運ぶときのご注意

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線など外部の接続線、転倒防止の処置などをはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜くこと

●カラオケシステムなどの重いものの、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。



●ラジカセなどのアンテナはたたんでください。伸ばしたまま持ち運びをすると、アンテナが引っかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。



■アンテナを立てるとき

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。



■電池の使用は

●本機で指定されていない電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を破損する原因となることがあります。



■充電電池の使用は

●充電式電池に張ってあるビニールカバーは、はがさないでください。ショートして電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



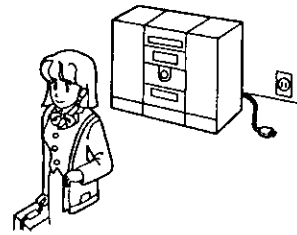
●充電終了後は、充電器をコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜くこと

■長時間ご使用にならないとき

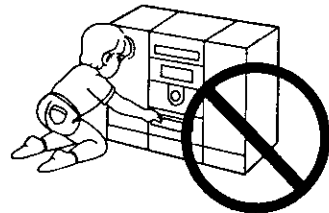
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜くこと

■挿入口に手を入れないでください

小さなお子様がかセットテープやディスクの挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



指をはさまれないように注意

■専用の電源コード、ACアダプターを使用してください。

電源コードまたはACアダプターを使用する機器には専用（付属または指定）の物をご使用ください。それ以外の物を使用すると火災・感電の原因となることがあります。



■レーザー光源について

レーザーを使用している機器ではレーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



⚠ 注意

■音量について

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



●電源を入れる前には音量＜ボリューム＞を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■スピーカー使用時のご注意

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



■ディスク使用時のご注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



一般的なお注意

■ヘッドの清掃について

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしだいに汚れます。汚れたままで使うと、音が出なかったり、途切れたりします。約10時間使用しましたら綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラーを軽くふきます。（清掃の方法などは取扱説明書をご覧ください。）

■本機のお手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。

■結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズやテープヘッドに水滴がついて（結露現象）、正しく作動しないことがあります。このような場合には1～2時間待ってから使用してください。

■超音波加湿器の使用について

本機の周囲での超音波加湿器の使用は避けてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用しますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなる可能性があります。

■カセットテープやディスクについて

●ホコリやチリの多い所には置かないでください。
●湿気の多い場所、カビの発生しやすい場所には置かないでください。
●直射日光が当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。
●カセットテープは強い磁気の発生する場所には置かないでください。
●上に重い物を載せないでください。変形して使用できなくなることがあります。

ご注意

- デジタル出力端子は、組み合わせる機器によりノイズを発生する場合があります。
通常のAVアンプと光デジタル出力端子を接続する場合は、本機のセットアップメニューで「⑦デジタル光出力」の選択をPCMに切り換えてご使用ください。(取扱説明書の34ページを参照)
同軸デジタル出力端子はAC-3/PCM兼用ですので、接続しないでください。
- **□づきから見る**ときのご注意
ディスク装着後、自動的にタイトルメニューを表示するディスクの場合、タイトルメニュー表示となる前にLAST MEMO ボタンを押しますと、記憶動作となります。
□づきから見るには、停止中またはタイトルメニュー表示中にLAST MEMO ボタンを押してください。
- 操作によっては再生中に画面が止り、操作ボタンを受け付けない場合があります。その場合は、一度停止して(前面の停止■ボタンを1回押す、またはリモコンのSTOP■ボタンを2回押す)から再生をしてください。
- DVDではタイムサーチ、チャプターサーチ、A-Bリピート、ラストメモリー等ができないものがあります。
本機で機能しない場合には、⊙マークが画面に出ます。

<アスペクト切替えについて>

ディスクによっては再生中のアスペクト切替えを禁止している場合があります。その場合には、一度ストップした状態にして切替えを行ってください。

また、設定した内容をディスクごとに保持したい場合はコンディションメモリー機能をご利用ください。